

第13回出生動向基本調査 結婚と出産に関する全国調査 独身者調査の結果概要

調査の概要

- (1) 調査の目的と沿革
 - (2) 調査手続きと調査票回収状況
1. 結婚という選択—若者たちの結婚離れを探る—
 - (1) 結婚の意欲
 - (2) 結婚の利点・独身の利点
 - (3) なぜ結婚しないのか？
 2. パートナーシップ—ゆらぐ男女のかかわり—
 - (1) 異性との交際
 - (2) 同棲
 - (3) 性経験と避妊
 3. 希望の結婚像—どんな結婚を求めているのか—
 - (1) 希望する結婚年齢
 - (2) 希望するライフコース
 - (3) 子ども数についての希望
 4. 未婚者の生活と意識—若者たちを取り巻く状況と意識—
 - (1) 親との同居と就業の状況
 - (2) 女性の健康
 - (3) 結婚・家族に関する意識と評価

国立社会保障・人口問題研究所

担当：人口動向研究部

TEL (03)3595-2984 内線 4474・4471

<http://www.ipss.go.jp>

調査の概要

(1) 調査の目的と沿革

国立社会保障・人口問題研究所は2005(平成17)年6月、第13回出生動向基本調査(結婚と出産に関する全国調査)を実施した。この調査は他の公的統計では把握することのできない結婚ならびに夫婦の出生力に関する実状と背景を定期的に調査・計量し、関連諸施策ならびに将来人口推計をはじめとする人口動向把握に必要な基礎資料を得ることを目的としている。本調査は、戦前の1940(昭和15)年に第1回調査、ついで戦後の1952(昭和27)年に第2回調査が行われて以来、5年ごとに「出産力調査」の名称で実施されてきたが、第10回調査(1992年)以降名称を「出生動向基本調査」に変更して今回に至っている。第8回調査(1982年)からは夫婦を対象とする夫婦調査に加えて、独身者を対象とする独身者調査を同時実施している。なお、今回調査は、分析結果のより高い信頼性を確保するために、基礎事項の国勢調査結果との比較が可能となるよう、従来の調査時期を2年早めて2005(平成17)年に実施したものである。本概要報告は、第13回調査の独身者調査についてのものである。

(2) 調査手続きと調査票回収状況

本調査は、全国の年齢18歳以上50歳未満の独身者を対象とした全国標本調査であり、平成17年6月1日現在の事実について調べたものである。調査対象地区は、平成17年「国民生活基礎調査」(厚生労働省大臣官房統計情報部実施)の調査地区1,048カ所(平成12年国勢調査区から層化無作為抽出)の中から選ばれた700地区である。このうち所得票対象単位区以外の全ての世帯に居住する18歳以上50歳未満のすべての独身者が本調査の客体となる。

調査方法は配票自計、密封回収方式によった。その結果、調査票配布数(調査客体数)12,482票に対して、回収数は9,900票であり、回収率は79.3%であった(前回調査84.6%)。ただし、回収票のうち記入状況の悪い1,166票は無効票として集計対象から除外した。したがって、有効票数は8,734票であり、有効回収率は70.0%である(同75.3%)。なお、本報告では18歳以上35歳未満の未婚男女を中心に集計分析を行った。

表1 調査票配布数、有効回収数ならびに率

調査票の回収状況	
調査客体数	12,482
回収票数	9,900 (回収率 79.3%)
有効票数	8,734 (有効回収率 70.0%)

表2 男女年齢別未婚者数

年 齢	第13回調査未婚者数		(参考) 第12回調査未婚者数	
	男 性	女 性	男 性	女 性
総 数	4,002 (100.0%)	3,583 (100.0%)	4,665 (100.0%)	3,938 (100.0%)
18～34歳小計	3,139 (78.4%)	3,064 (85.5%)	3,897 (83.5%)	3,494 (88.7%)
18～19歳	422 (10.5%)	541 (15.1%)	706 (15.1%)	591 (15.0%)
20～24歳	1,025 (25.6%)	1,187 (33.1%)	1,405 (30.1%)	1,394 (35.4%)
25～29歳	1,025 (25.6%)	834 (23.3%)	1,124 (24.1%)	1,012 (25.7%)
30～34歳	667 (16.7%)	502 (14.0%)	662 (14.2%)	497 (12.6%)
35～39歳	412 (10.3%)	255 (7.1%)	323 (6.9%)	211 (5.4%)
40～44歳	270 (6.7%)	161 (4.5%)	232 (5.0%)	136 (3.5%)
45～49歳	181 (4.5%)	103 (2.9%)	213 (4.6%)	97 (2.5%)

1. 結婚という選択 — 若者たちの結婚離れを探る —

(1) 結婚の意欲

結婚する意思をもつ未婚者は9割で推移

いずれは結婚しようとする未婚者の割合は、近年わずかず減る傾向にあったが、前回調査(2002年)以降下げ止まりが見られ、今回調査でも男女とも9割程度で推移している。逆に「一生結婚するつもりはない」とする未婚者は男性でやや増えて7%台となったが、女性では5%台にとどまっている。

表1-1 調査別にみた、未婚者の生涯の結婚意思

【 男 性 】						
生涯の結婚意思	第8回調査 (1982年)	第9回 (1987年)	第10回 (1992年)	第11回 (1997年)	第12回 (2002年)	第13回 (2005年)
いずれ結婚するつもり	95.9 %	91.8	90.0	85.9	87.0	87.0
一生結婚するつもりはない	2.3	4.5	4.9	6.3	5.4	7.1
不 詳	1.8	3.7	5.1	7.8	7.7	5.9
総 数 (18~34歳) (標 本 数)	100.0 % (2,732)	100.0 (3,299)	100.0 (4,215)	100.0 (3,982)	100.0 (3,897)	100.0 (3,139)

【 女 性 】						
生涯の結婚意思	第8回調査 (1982年)	第9回 (1987年)	第10回 (1992年)	第11回 (1997年)	第12回 (2002年)	第13回 (2005年)
いずれ結婚するつもり	94.2 %	92.9	90.2	89.1	88.3	90.0
一生結婚するつもりはない	4.1	4.6	5.2	4.9	5.0	5.6
不 詳	1.7	2.5	4.6	6.0	6.7	4.3
総 数 (18~34歳) (標 本 数)	100.0 % (2,110)	100.0 (2,605)	100.0 (3,647)	100.0 (3,612)	100.0 (3,494)	100.0 (3,064)

設問「自分の一生を通じて考えた場合、あなたの結婚に対するお考えは、次のうちのどちらですか。」

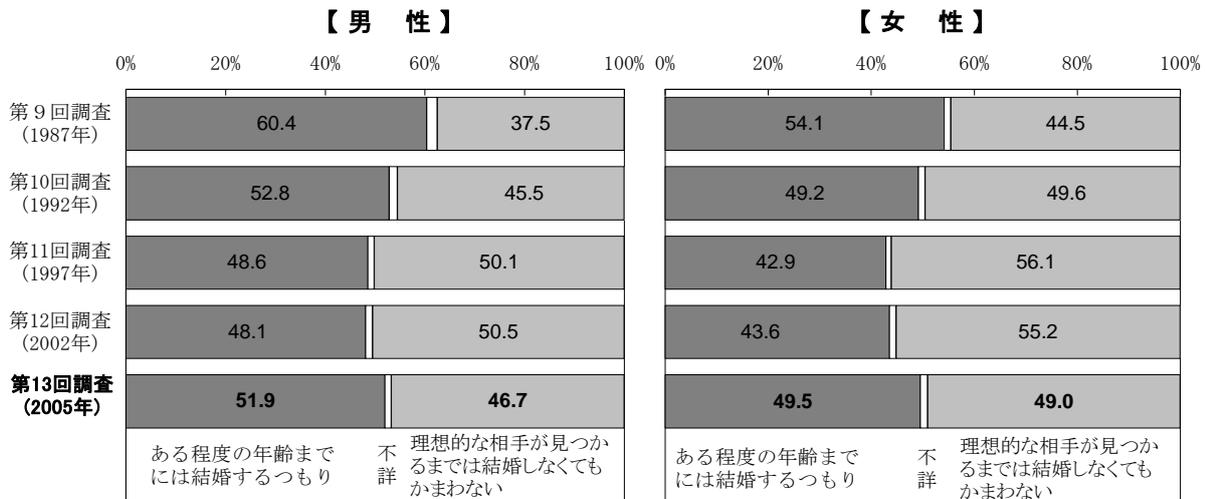
1. いずれ結婚するつもり、2. 一生結婚するつもりはない

注：対象は18～34歳未婚者。年齢別の詳細な数値は付表1(巻末)参照。

結婚年齢にこだわる未婚者が増える

結婚する意思のある未婚者のうち「ある程度の年齢までには結婚したい」と考える者は、近年減少傾向にあったが、前回調査(2002年)から傾向が変わり、今回はやや持ち直して「理想の相手が見つかるまでは結婚しなくてもかまわない」とする者と五分五分の構成に戻った。

図1-1 調査別にみた、結婚意思をもつ未婚者の結婚に対する考え方



注：対象は「いずれ結婚するつもり」と答えた18～34歳未婚者。詳細な数値は付表2(巻末)参照。

結婚を先のぼしする意識は継続

一年以内の結婚について「まだ結婚するつもりはない」と回答した未婚者は、女性20歳代後半を除き増加傾向にあり、結婚を先のぼしする意識は引き続き増加する傾向にある。

表1-2 調査・年齢別にみた、「まだ結婚するつもりはない」と回答した未婚者の割合

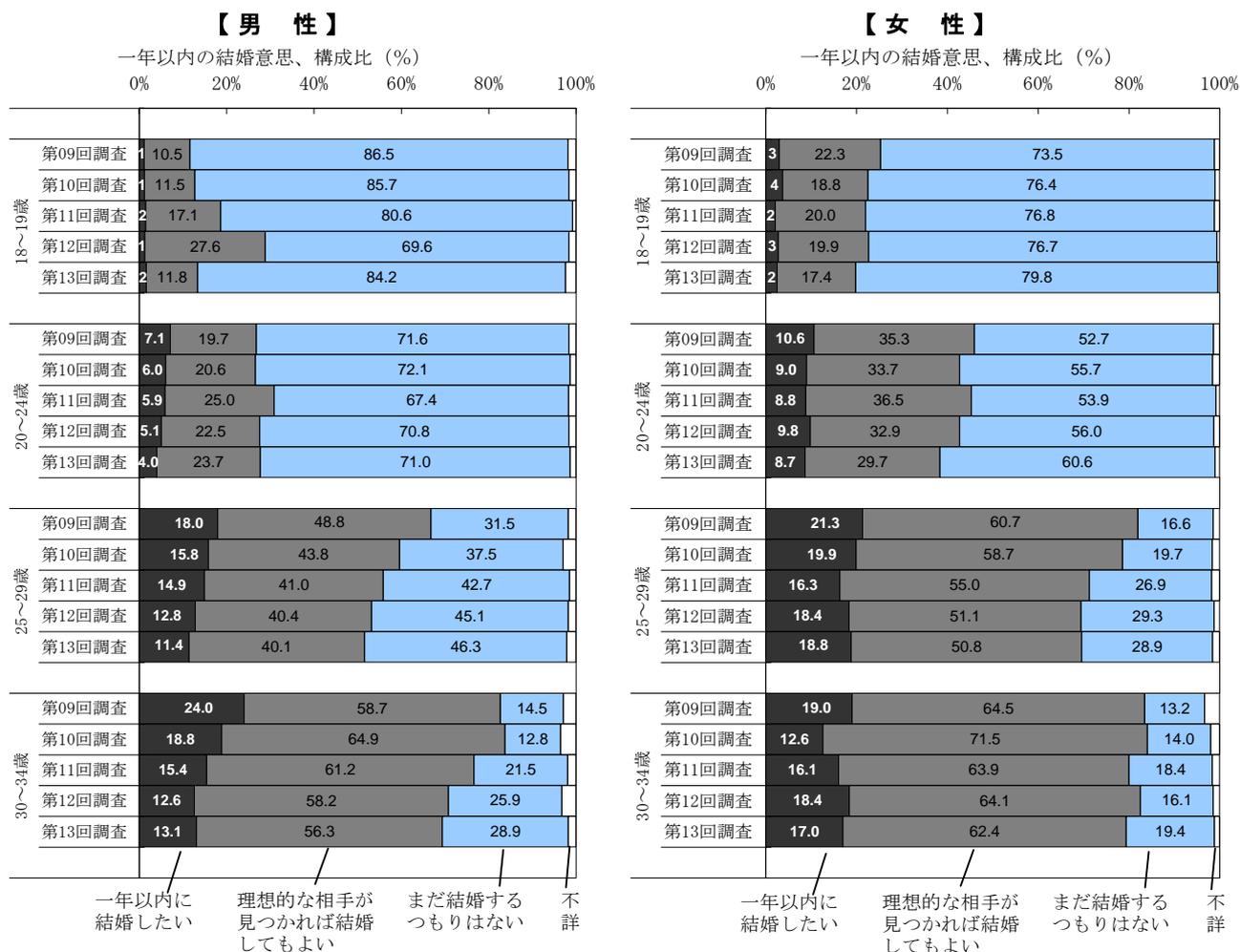
年 齢	【 男 性 】					【 女 性 】				
	第9回調査 (1987年)	第10回 (1992年)	第11回 (1997年)	第12回 (2002年)	第13回 (2005年)	第9回調査 (1987年)	第10回 (1992年)	第11回 (1997年)	第12回 (2002年)	第13回 (2005年)
18～19歳	86.5%	85.7	80.6	69.6	84.2	73.5%	76.4	76.8	76.7	79.8
20～24歳	71.6	72.1	67.4	70.8	71.0	52.7	55.7	53.9	56.0	60.6
25～29歳	31.5	37.5	42.7	45.1	46.3	16.6	19.7	26.9	29.3	28.9
30～34歳	14.5	12.8	21.5	25.9	28.9	13.2	14.0	18.4	16.1	19.4
総数(18～34歳)	57.3%	59.3	56.5	55.9	56.0	49.5%	50.7	47.7	46.3	48.8
参考(35～39歳)	—	9.8	13.9	20.6	22.3	—	12.6	13.6	16.0	12.8

設問「それでは今から一年以内の結婚に関してはどのようにお考えですか。」

1. 一年以内に結婚したい、2. 理想的な相手が見つければ結婚してもよい、3. まだ結婚するつもりはない。

注：対象は「いずれ結婚するつもり」と答えた18～34歳未婚者。「一年以内に結婚したい」「理想的な相手が見つければ結婚してもよい」と回答した割合については付表3(巻末)参照。なお、参考として第10回調査以降について35～39歳の状況を示した。

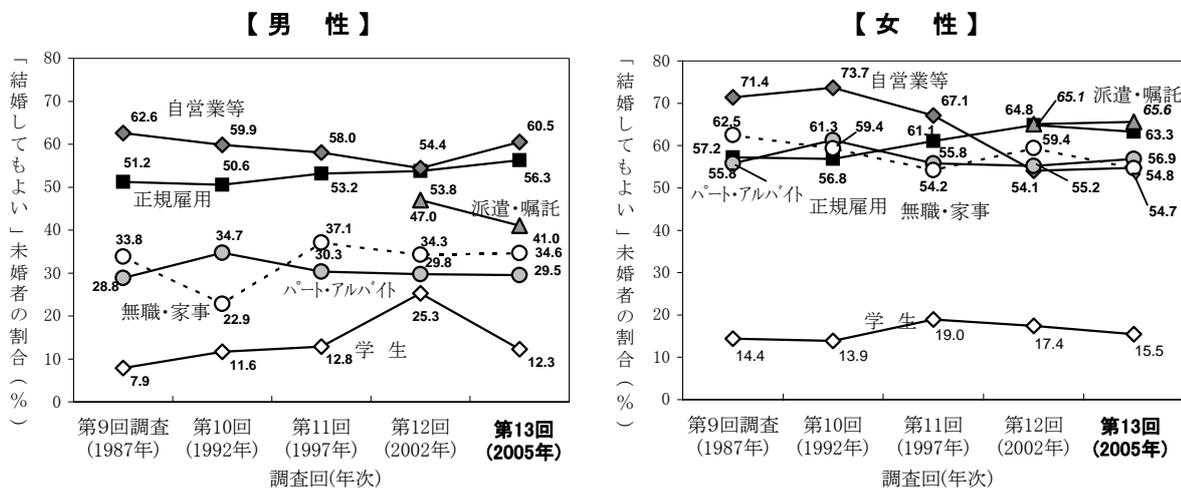
図1-2 調査・年齢別にみた、一年以内の結婚意思



男性では就業の状況によって結婚意欲が異なる

「いずれ結婚するつもり」と回答した未婚者の中で「一年以内に結婚したい」または「理想的な相手が見つければ結婚してもよい」と回答した未婚者の割合は、男性では就業の状況によって著しく異なる。自営業・家族従業等、正規雇用者で結婚してもよいと考える未婚者が多い。非正規就業者(パート・アルバイト)は無職・家事の人よりも結婚意欲が低い傾向にある。女性では学生を除くと男性ほどの差は見られないが、従来結婚意欲の高かった自営業・家族従業等の従事者で後退が見られ、相対的に正規雇用者、派遣・嘱託などの未婚者で意欲が高くなっている。

図1-3 就業の状況別にみた、一年以内に結婚してもよいと考える未婚者割合の推移



注：本図の数値は「いずれ結婚するつもり」と回答した18～34歳の未婚者の中で「一年以内に結婚したい」または「理想的な相手が見つければ結婚してもよい」と回答した未婚者の割合。派遣・嘱託の区分は第12回調査以降で追加された。就業の状況の構成については付表5(巻末)参照。

(2) 結婚の利点・独身の利点

「結婚には利点がある」と考える未婚者がやや増える

結婚することに利点があると感じている未婚男女はやや増えて、男性65.7%、未婚女性74.0%となった。逆に利点はないと考えているのは男性の28.6%、女性の21.5%である。一方、独身生活に利点があると考える人は男性83.8%、女性87.2%と、結婚に利点を感じずる割合よりかなり多く、こちらも今回やや増えた。

表1-3 調査別にみた、未婚者の結婚の利点・独身生活の利点に対する考え

		【男性】					【女性】				
		第9回調査 (1987年)	第10回 (1992年)	第11回 (1997年)	第12回 (2002年)	第13回 (2005年)	第9回調査 (1987年)	第10回 (1992年)	第11回 (1997年)	第12回 (2002年)	第13回 (2005年)
今のあなたにとって結婚することは	利点があると思う	69.1%	66.7	64.6	62.3	65.7	70.8%	71.4	69.9	69.4	74.0
	利点はないと思う	25.4	29.1	30.3	33.1	28.6	24.7	25.2	25.5	26.3	21.5
	不詳	5.5	4.2	5.1	4.6	5.7	4.5	3.4	4.6	4.3	4.5
合計		100.0%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0%	100.0	100.0	100.0	100.0
今のあなたにとって独身生活は	利点があると思う	83.0%	83.6	82.7	79.8	83.8	89.7%	89.0	88.5	86.6	87.2
	利点はないと思う	10.7	11.2	11.6	14.6	10.3	5.4	7.4	7.2	8.6	7.6
	不詳	6.3	5.2	5.7	5.6	5.9	4.9	3.6	4.3	4.8	5.1
合計		100.0%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0%	100.0	100.0	100.0	100.0
(標本数)		(3,299)	(4,215)	(3,982)	(3,897)	(3,139)	(2,605)	(3,647)	(3,612)	(3,494)	(3,064)

設問：「今のあなたにとって、結婚することは何か利点があると思いますか。」 1. 利点があると思う、2. 利点はないと思う、「それでは逆に今のあなたにとって、独身生活には結婚生活にはない利点があると思いますか。」

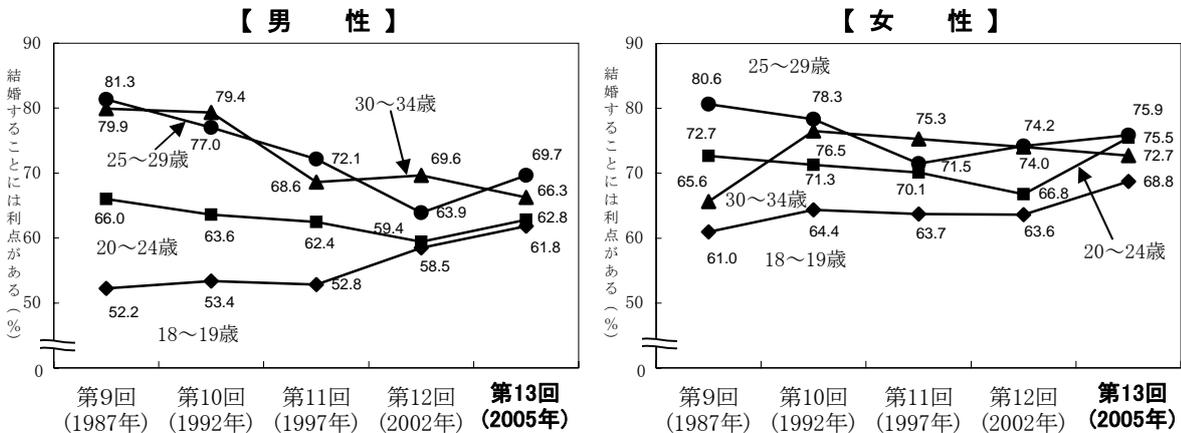
1. 利点があると思う、2. 利点はないと思う

注：対象は18～34歳未婚者。

年齢による結婚の利点の感じ方が一様になりつつある

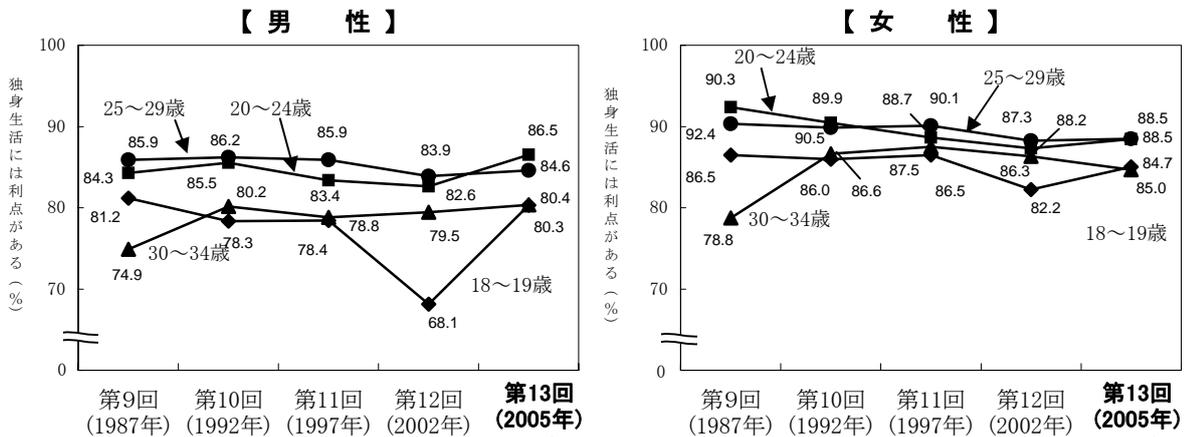
結婚の利点の感じ方は従来20歳代後半で多く意識されていたが、近年これが減少し、逆に若い層で増加が見られた結果、男女とも年齢による違いが少なくなっている(図1-4)。一方、独身生活の利点の感じ方はもともと年齢による差が小さく、また調査によっても変化が少ない(図1-5)。

図1-4 年齢別にみた「結婚することは利点がある」と考える未婚者割合の推移



注：対象は18~34歳未婚者。

図1-5 年齢別にみた「独身生活は利点がある」と考える未婚者割合の推移

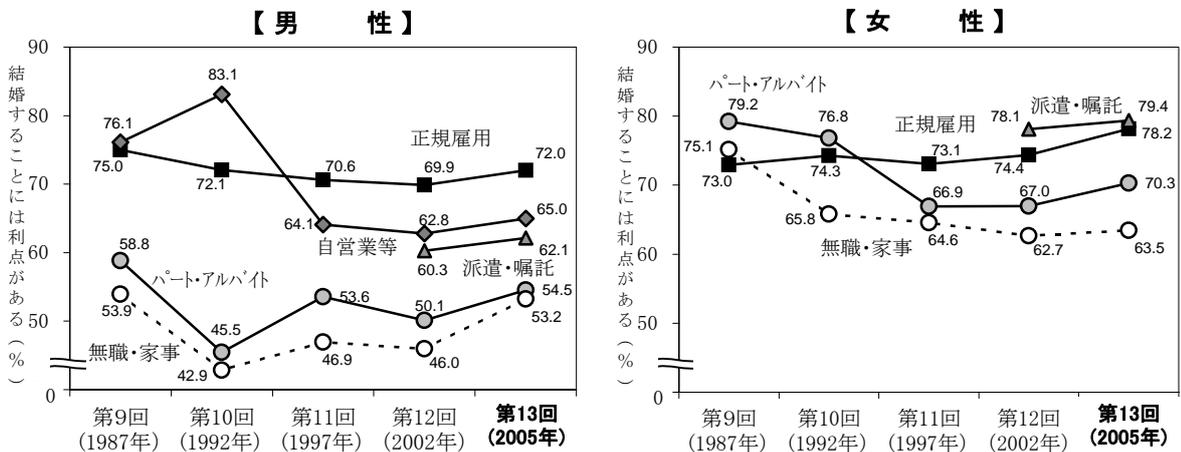


注：対象は18~34歳未婚者。

正規雇用者で高い結婚の利点

結婚の利点の感じ方は就業の状態によっても異なり、とくに男性では差が大きい(図1-6)。正規雇用者の場合、利点を感じる人は70%前後で安定的に推移しており、40~50%台の無職・家事等や非正規就業者(パート・アルバイト)から大きく隔たっている。女性では近年、利点の感じ方に就業の状況による差が明瞭となってきており、正規就業者、派遣・嘱託が最も高く、非正規就業者、無職・家事の順となっている。

図1-6 就業の状況別にみた「結婚することは利点がある」と考える未婚者割合の推移

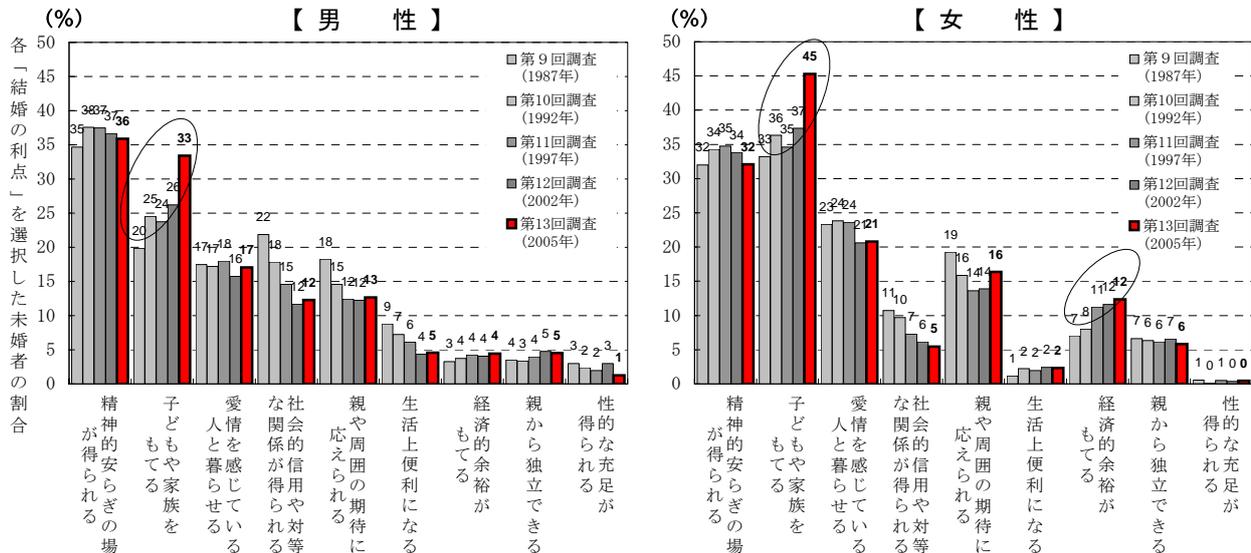


注：対象は18~34歳未婚者。就業の状況「学生」および女性では「自営業・家族従業等」を省略した。就業の状況の構成については付表5(巻末)参照。

結婚の利点は「自分の子どもや家族をもてる」ことが大幅に増加

結婚の利点として男性では「精神的な安らぎの場が得られる」が最も多いが、女性では「自分の子どもや家族をもてる」が最も多く、後者は今回調査で男女とも大幅に増加した。三番目に多い利点として男女とも「愛情を感じている人と暮らせる」が続き、現在の未婚者の感じる結婚の利点は内面的事柄が上位を占めている。一方、結婚の実利面については、男性で「社会的信用を得たり、周囲と対等になれる」「生活上便利になる」が減少傾向にあったが、今回は横這いとなった。女性では「親や周囲の期待に応えられる」がやや増えたほか、「経済的余裕がもてる」を利点とする者がわずかずつ増える傾向にある。

図1-7 調査別にみた、結婚することの利点

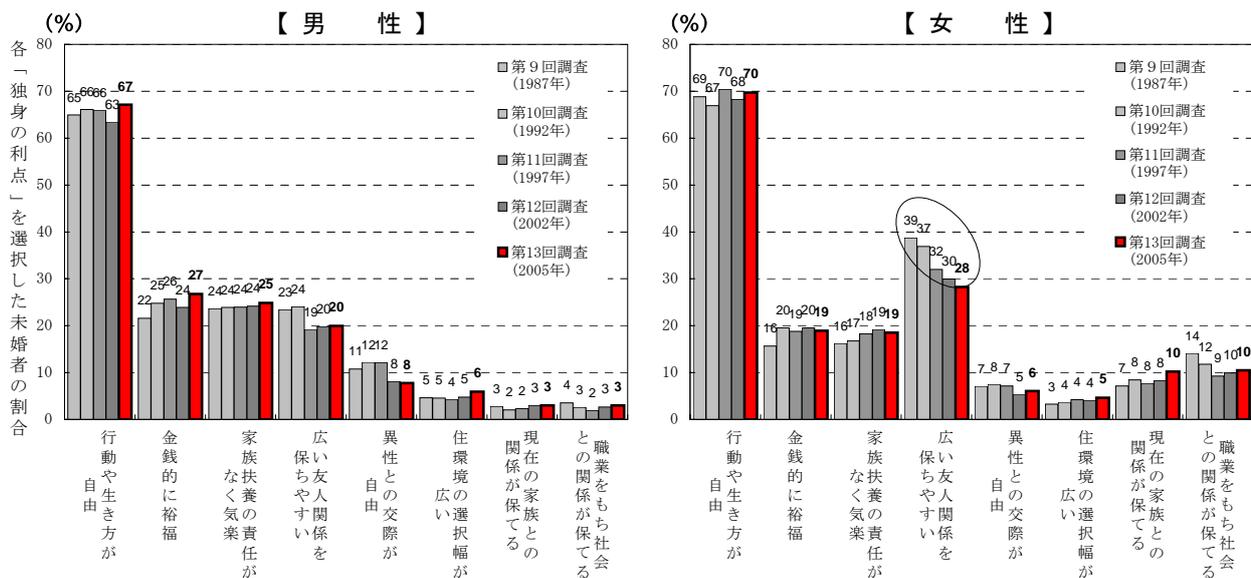


注：18～34歳未婚者のうち何%の者が、各項目を主要な結婚の利点（二つまで選択）として考えているかを示す。

独身生活の最大の魅力は「行動や生き方が自由」であること

独身生活の利点は、男女とも圧倒的に「行動や生き方が自由」を挙げる人が多い。それ以外では「金銭的に裕福」「家族を養う責任がなく、気楽」「友人などとの広い人間関係が保ちやすい」などが比較的多い。これらのパターンは調査ごとにほとんど変化がない。すなわち未婚者は結婚すると行動や生き方、友人関係などが束縛され、家族扶養の精神的負担が加わると一貫して考えている。ただし、女性で広い友人関係が保てることを独身生活の利点とする人が漸減しており、この点に関する結婚の束縛感は緩んでいる。

図1-8 調査別にみた、独身生活の利点



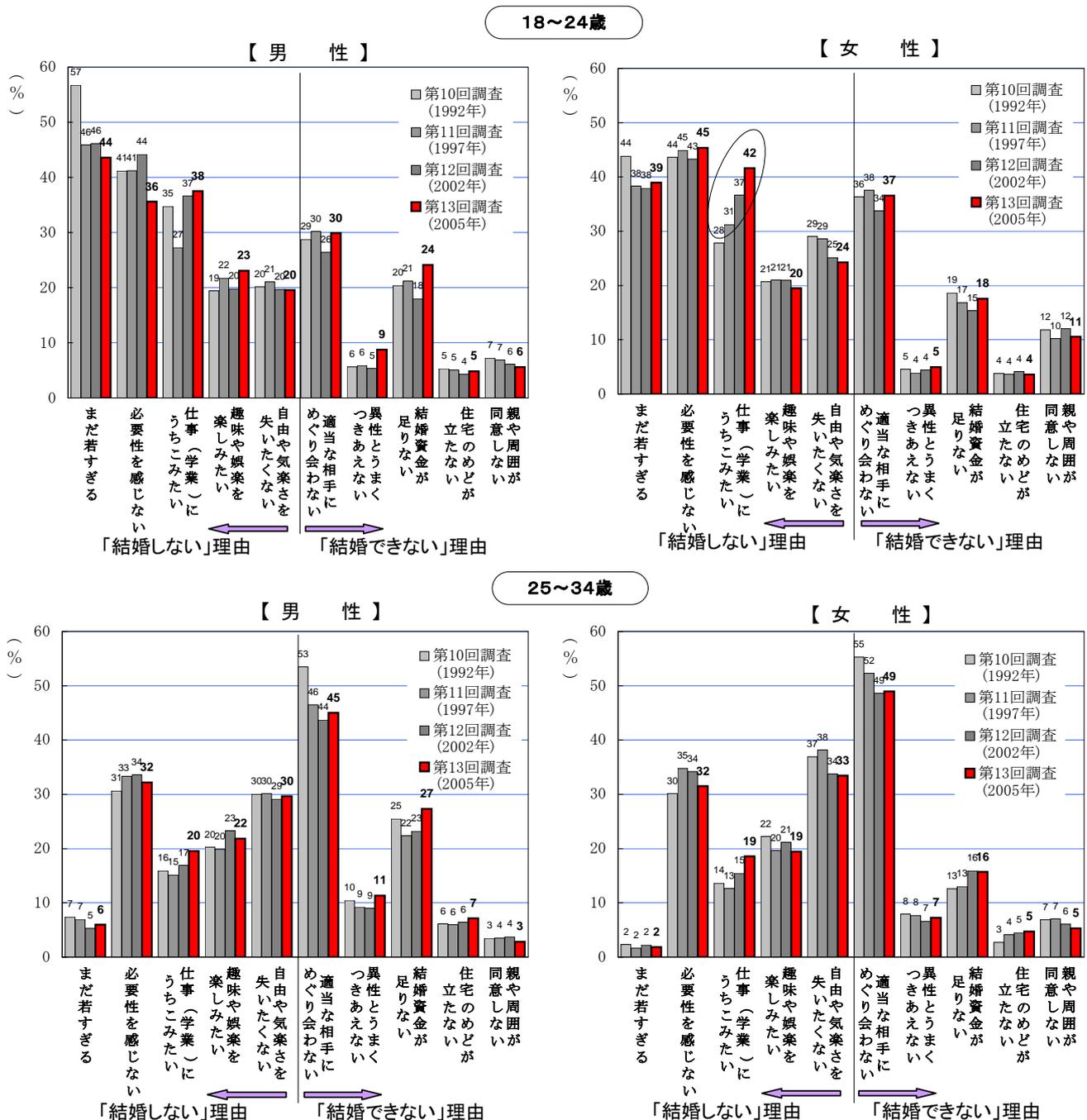
注：18～34歳未婚者のうち何%の者が、各項目を主要な独身生活の利点（二つまで選択）として考えているかを示す。

(3) なぜ結婚しないのか？

結婚をする積極的理由の欠如や、25歳を過ぎると適当な相手がいないことが制約

未婚者に現在独身にとどまっている理由をたずねたところ、25歳未満の若い年齢層では「まだ若すぎる」「必要性を感じない」などの結婚の必然性の欠如や「仕事（学業）」「趣味や娯楽」などの競合するものの存在、さらには「自由や気楽さを失いたくない」など、結婚をする積極的理由の欠如を意味する項目が多く選ばれている。しかし、25歳以上になると「適当な相手にまだめぐり合わない」という理由を挙げる者が半数程度いる。ただ、この年齢に至っても「必要性を感じない」「自由や気楽さを失いたくない」を選ぶ者は多く、とくに後者は若い年齢層よりも多く選ばれている。今回調査では「適当な相手にめぐり合わない」、男性で「結婚資金が足りない」などがこれまでの減少傾向に反して増えるなど、全般にやや傾向が変わった一方で「仕事（学業）にうちこみたい」は若い年齢層を中心に着実に増えており、とりわけ女性で顕著である。

図 1-9 年齢階層別にみた独身にとどまっている理由



注:未婚者のうち何%の人が各項目を独身にとどまっている理由(三つまで選択)として挙げているかを示す。

2. パートナーシップ—ゆらぐ男女のかかわり—

(1) 異性との交際

異性との交際の状況は低調なまま推移

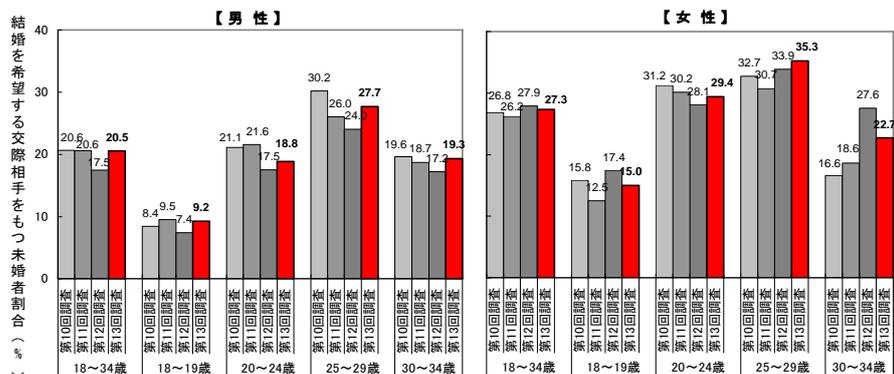
「交際している異性はいない」と回答した未婚者は男性52.2%で過半数、女性では44.7%で前回調査よりやや(4.4ポイント)増加して半数弱となり、異性交際の状況はいぜん低調なまま推移している(表2-1)。また、結婚したいと思う交際相手(婚約者+恋人+友人)がいる未婚者(18~34歳)の割合は男性20.5%、女性27.3%で(図2-1)、男性では今回各年齢層でこれまでの減少傾向をやや戻したが、女性では30~34歳でのやや大きな変動を除き、調査間で大きな変化は見られない。

表2-1 調査別にみた、未婚者の異性との交際の状況

異性との交際	【男性】					【女性】				
	第9回 (1987年)	第10回 (1992年)	第11回 (1997年)	第12回 (2002年)	第13回 (2005年)	第9回 (1987年)	第10回 (1992年)	第11回 (1997年)	第12回 (2002年)	第13回 (2005年)
婚約者がいる	2.9%	3.2	2.9	2.7	2.9	4.6%	3.9	3.8	3.9	4.8
恋人として交際している異性がいる	19.4	23.1	23.3	22.4	24.3	26.2	31.6	31.6	33.1	31.9
友人として交際している異性がいる	23.6	19.2	15.3	11.3	14.0	25.4	19.5	15.9	12.4	12.9
交際している異性はいない	48.6	47.3	49.8	52.8	52.2	39.5	38.9	41.9	40.3	44.7
不詳	5.5	7.2	8.7	10.9	6.6	4.3	6.3	6.8	10.2	5.7
総数(18~34歳) (標本数)	100.0% (3,299)	100.0 (4,215)	100.0 (3,982)	100.0 (3,897)	100.0 (3,139)	100.0% (2,605)	100.2 (3,647)	100.0 (3,612)	100.0 (3,494)	100.0 (3,064)

設問「あなたには現在交際している異性がありますか。」
注：対象は18~34歳未婚者。

図2-1 調査・年齢別にみた、結婚を希望する交際相手をもつ未婚者の割合



注：異性の交際相手をもつ未婚者のなかで、その交際相手との結婚を希望する未婚者の割合を示す。
対象は異性の交際相手がいる(「婚約者がいる」を含む)と回答した18~34歳未婚者。

(2) 同棲

同棲経験者、20代後半から30代で1割に達する

現在または過去に同棲した経験があると回答した未婚者は、男性7.9%、女性7.3%であり、近年わずかず増加を示している。とりわけ25~29歳、30~34歳での増加が明瞭で、今回調査では男性11.8%、9.9%、女性10.1%、10.6%と女性では30~34歳でも初めて1割に達した。しかしながら、現在同棲を継続している未婚男女は、女性30~34歳を除いてすべての年齢で前回調査より減少し、いまだ少数派である。

表2-2 調査・年齢階級別にみた、同棲経験のある未婚者の割合

年齢	【男性】					【女性】				
	第9回 (1987年)	第10回 (1992年)	第11回 (1997年)	第12回 (2002年)	第13回 (2005年)	第9回 (1987年)	第10回 (1992年)	第11回 (1997年)	第12回 (2002年)	第13回 (2005年)
18~19歳	1.2% (0.5)	0.9 (0.2)	0.6 (0.5)	1.8 (0.8)	0.9 (0.5)	1.9% (0.8)	1.3 (0.8)	2.6 (1.0)	3.0 (1.7)	1.7 (1.1)
20~24歳	3.5 (1.0)	4.2 (1.3)	4.5 (2.1)	6.0 (2.8)	5.7 (2.5)	2.7 (0.8)	3.1 (1.1)	4.4 (2.3)	7.5 (2.7)	6.7 (2.2)
25~29歳	3.3 (0.7)	6.7 (1.3)	7.1 (1.7)	10.3 (2.8)	11.8 (2.2)	4.1 (0.0)	4.5 (1.4)	5.3 (1.0)	10.0 (3.0)	10.1 (2.9)
30~34歳	5.0 (1.5)	7.1 (1.6)	6.0 (1.9)	6.9 (1.8)	9.9 (1.3)	4.4 (0.6)	6.1 (1.6)	7.6 (1.5)	8.2 (1.4)	10.6 (3.0)
総数(18~34歳) (標本数)	3.2% (0.9) (3,299)	4.5 (1.1) (4,215)	4.8 (1.7) (3,982)	6.7 (2.3) (3,897)	7.9 (1.9) (3,139)	2.8% (0.7) (2,605)	3.1 (1.1) (3,647)	4.6 (1.7) (3,612)	7.6 (2.4) (3,494)	7.3 (2.3) (3,064)

設問「あなたはこれまでに同棲の経験(特定の異性と結婚の届け出なしで一緒に生活をしたこと)がありますか。」

1. ない、2. 以前はあるが現在はしていない、3. 現在している

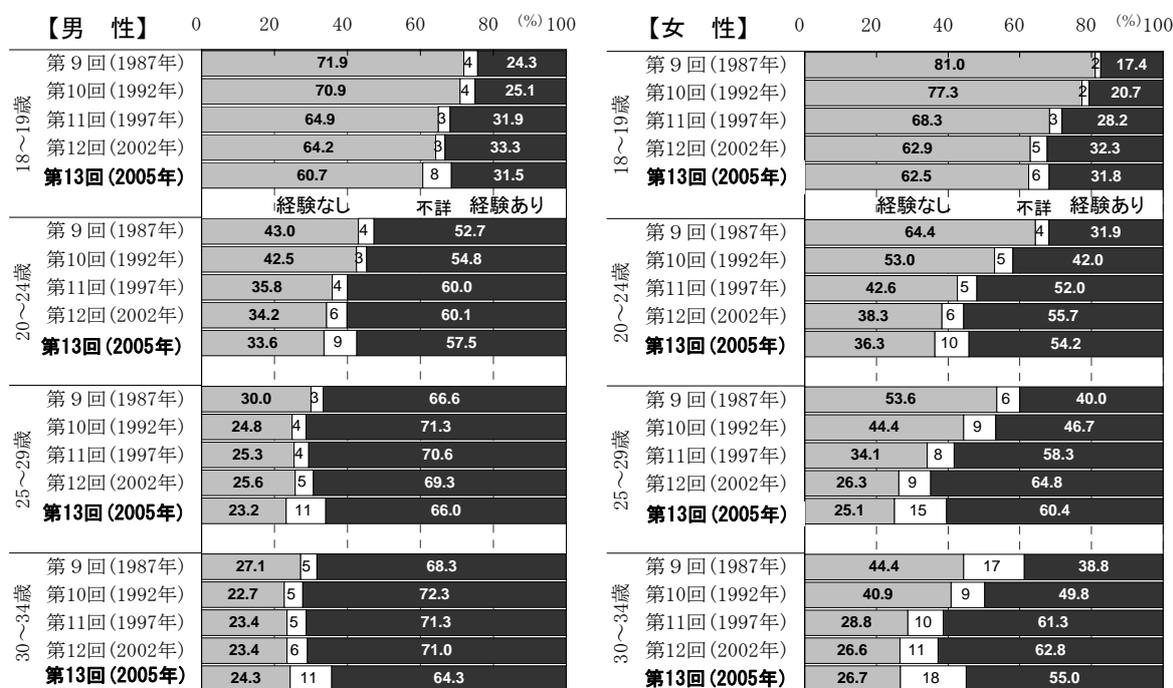
注：表中の数字は同棲経験を持つ人(選択肢2または3)の割合。また()の数字は現在同棲している人(選択肢3)の割合。

(3) 性経験と避妊

未婚者の性経験、増加傾向に停滞が見られる

性経験があると回答した未婚者は、男性58.2%（前回59.8%）、女性52.1%（55.4%）であった。前回調査までにみられた女性での性経験割合の上昇傾向は止まっており、男性に続いて女性でも頭打ちの傾向が見られた。

図2-2 調査・年齢別にみた、未婚者の性経験の構成比



設問「あなたはこれまでに異性と性交渉をもったことがありますか。」 1. ある、2. ない
 第13回調査の設問は、1. 過去1年以内にある、2. 過去1年以内にはないが、以前にはある、3. ない
 注：詳細な数値は付表4（巻末）参照。

性経験のある未婚男女の8割以上が避妊を実行

性経験のある18～34歳の未婚男女に、一番最近の経験における避妊実行の有無をたずねたところ、男性の84.7%、女性の82.4%が避妊をしたと回答した。方法別にみると、コンドームの使用が男性で80.3%、女性で73.7%と圧倒的に多い。ピル（経口避妊薬）の使用は男性で0.8%、女性では1.4%であった。

表2-3 年齢別にみた、性経験のある未婚者の避妊の実行割合

年齢	総数 (標本数)	男性						女性						
		避妊した	(再掲) 方法(複数回答)			しなかった	不詳	総数 (標本数)	避妊した	(再掲) 方法(複数回答)			しなかった	不詳
			コンドーム	ピル(経口避妊薬)	その他					コンドーム	ピル(経口避妊薬)	その他		
第13回調査(2005年)														
総数(18～49歳)	100.0% (2,382)	83.0	78.0	1.0	5.9	16.0	1.1	100.0% (1,887)	81.7	71.8	1.4	11.4	17.1	1.2
総数(18～34歳)	100.0% (1,827)	84.7	80.3	0.8	5.3	14.6	0.7	100.0% (1,595)	82.4	73.7	1.4	10.0	16.5	1.1
18～19歳	100.0 (133)	86.5	82.7	0.0	5.3	13.5	0.0	100.0 (172)	83.1	80.8	0.6	4.1	16.3	0.6
20～24歳	100.0 (589)	87.3	83.7	1.2	5.3	12.1	0.7	100.0 (643)	83.4	74.8	2.0	9.0	15.4	1.2
25～29歳	100.0 (676)	85.4	80.5	0.9	5.2	13.8	0.9	100.0 (504)	83.1	72.8	1.8	11.7	15.9	1.0
30～34歳	100.0 (429)	79.7	74.6	0.2	5.4	19.6	0.7	100.0 (276)	78.3	68.5	0.0	12.7	20.3	1.5
35～39歳	100.0 (267)	82.4	74.2	1.5	9.4	16.1	1.5	100.0 (145)	80.0	62.8	1.4	20.0	19.3	0.7
40～44歳	100.0 (179)	75.4	68.7	1.7	9.5	20.7	3.9	100.0 (89)	79.8	70.8	0.0	12.4	18.0	2.3
45～49歳	100.0 (109)	67.0	64.2	1.8	1.8	31.2	1.8	100.0 (58)	70.7	43.1	3.5	27.6	27.6	1.7
(参考) 第11回調査(1997年)														
35歳未満総数	100.0% (2,395)	76.4	-	-	-	19.5	4.2	100.0% (1,823)	70.5	-	-	-	26.1	3.5

注：対象は上記年齢層の性経験のある未婚者。方法別における「その他」には「オグノ式・基礎体温法」「性交中絶(膈外射精)」を含む。方法別の数値は複数回答の結果であり、総数に占める割合を示す。第11回調査(1997年)では方法についてはたずねていない。なお国内では1999年に低用量ピルが認可されている。

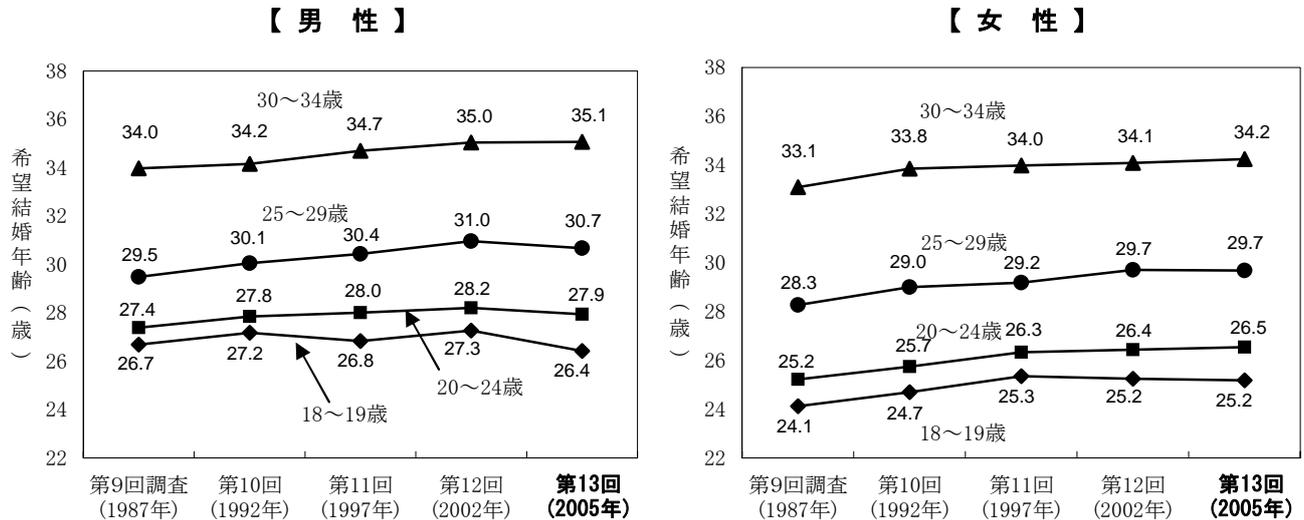
3. 希望の結婚像—どんな結婚を求めているのか—

(1) 希望する結婚年齢

希望する結婚年齢の上昇傾向にほぼ頭打ちが見られる

未婚者が結婚したいと思う年齢(平均希望結婚年齢)は、ほとんどの年齢層において上昇が続いていたが、今回の調査ではおおむね上げ止まっており、男性ではわずかに下がる傾向も見られる。

図3-1 年齢別にみた、未婚者の平均希望結婚年齢の推移

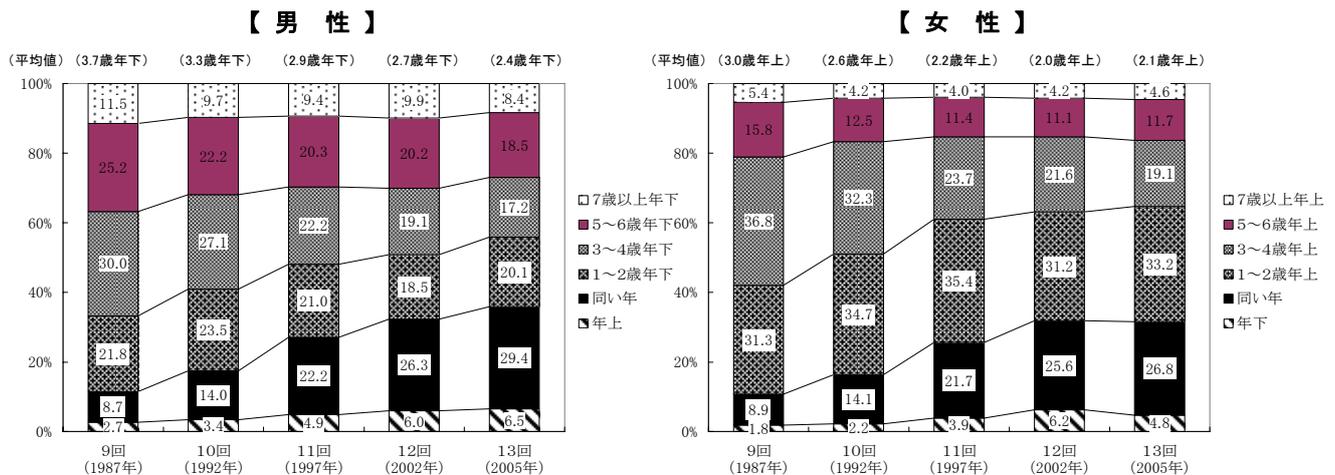


注：対象は「いずれ結婚するつもり」と答えた18～34歳未婚者。

年齢の近い結婚相手を望む傾向、女性では一段落

結婚相手との年齢差についての希望を見ると、近年、男女ともに縮小傾向にあり、未婚者の中で年齢の近い相手(とりわけ同い年の相手)を希望する人が増えてきた。しかし、今回調査では女性でこの変化傾向に一定の休止が見られ、一段落を示している。

図3-2 調査・年齢別にみた、結婚相手との希望年齢差の構成



注：対象は「いずれ結婚するつもり」と答えた18～34歳未婚者。希望する結婚相手との年齢差は、対象者が希望する本人と相手の結婚年齢の差。不詳を除く構成。図の上部()内は希望年齢差の平均値。なお、夫婦調査による実際の夫妻年齢差(調査時点より過去5年間に結婚した夫婦)は、第9回調査(1987年)2.9歳、第10回(1992年)2.6歳、第11回(1997年)2.4歳、第12回(2002年)1.7歳、第13回(2005年)1.7歳。

(2) 希望するライフコース

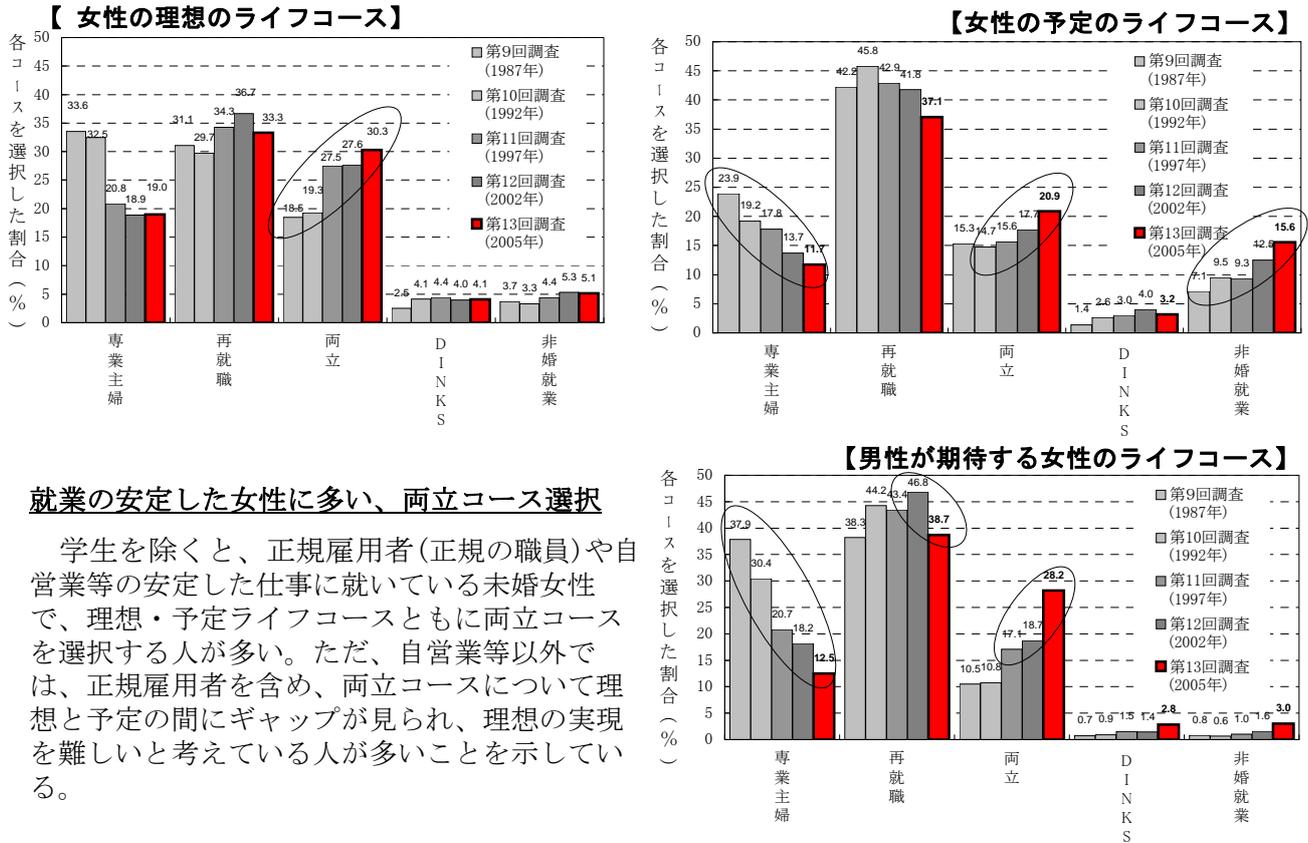
未婚女性の理想、予定のライフコースで「両立」が増加、女性に両立を期待する男性も約3割に

未婚の女性が理想とするライフコース(理想のライフコース)と実際になりそうだと考えるライフコース(予定のライフコース)では、ともに両立コースが増加した。一方で、再就職コースは減少している。予定のライフコースでは、専業主婦コースの減少傾向と非婚就業継続コースの増加傾向が続いている。男性がパートナーとなる女性に期待するコースでも両立コースが3割近くに達し、専業主婦を望む人は13%と急速な減少傾向が続いている。

ライフコースの説明：

- 専業主婦コース = 結婚し子どもを持ち、結婚あるいは出産の機会に退職し、その後は仕事を持たない
- 再就職コース = 結婚し子どもを持つが、結婚あるいは出産の機会にいったん退職し、子育て後に再び仕事を持つ
- 両立コース = 結婚し子どもを持つが、仕事も一生続ける
- DINKSコース = 結婚するが子どもは持たず、仕事を一生続ける
- 非婚就業コース = 結婚せず、仕事を一生続ける

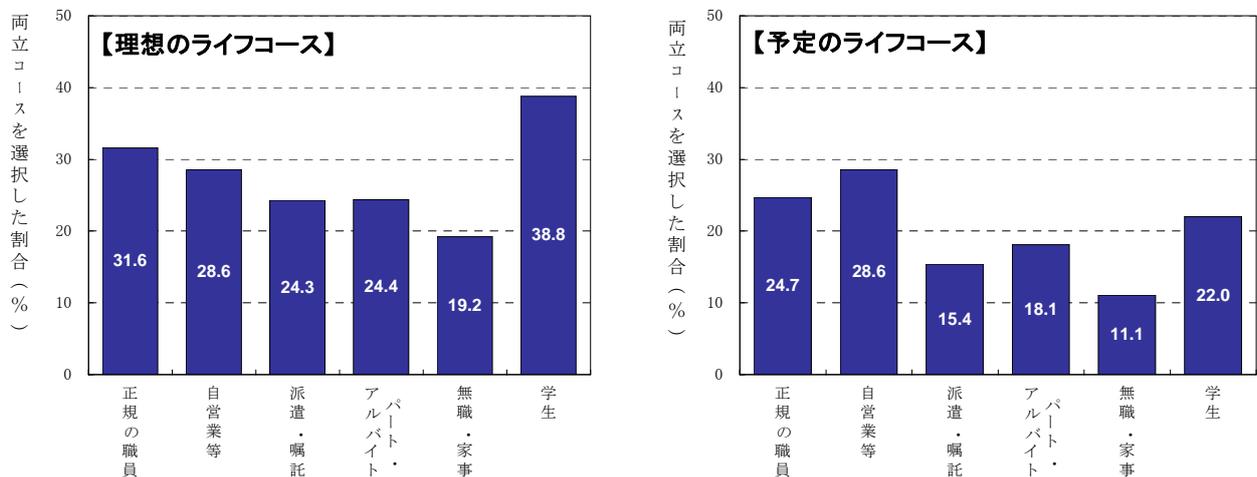
図3-3 調査別にみた、未婚女性の理想・予定のライフコース、および男性が期待する女性のライフコース



就業の安定した女性に多い、両立コース選択

学生を除くと、正規雇用者(正規の職員)や自営業等の安定した仕事に就いている未婚女性で、理想・予定ライフコースともに両立コースを選択する人が多い。ただ、自営業等以外では、正規雇用者を含め、両立コースについて理想と予定の間にギャップが見られ、理想の実現を難しいと考えている人が多いことを示している。

図3-4 就業の状況別にみた、両立コースを理想・予定とする未婚女性の割合



注: 対象は18~34歳未婚者。総数における両立コース選択割合は、理想コース30.0%、予定コース20.9%。就業の状況の構成については付表5(巻末)参照。

(3) 子ども数についての希望

未婚男女の希望子ども数は下げ止まり傾向

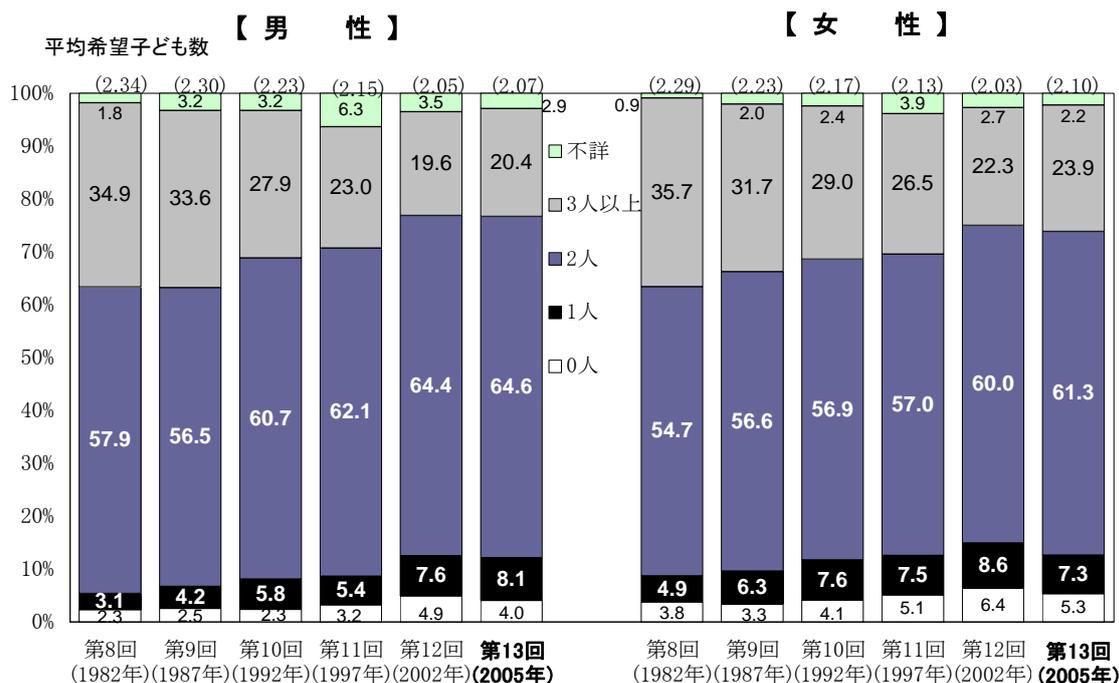
「いずれ結婚するつもり」の未婚者が希望する平均子ども数は1982年の調査開始以来減少する傾向にあったが、今回調査では男性2.07人(前回2.05人)、女性2.10人(2.03人)で、下げ止まりが見られた(表3-1)。希望子ども数の分布にも前回調査(2002年)からは大きな変化は見られない(図3-5)。また、希望子ども数は従来は男性の方が多い傾向にあったが、しだいに男女差が縮小し、今回は女性の数値が初めて男性を上回った。

表3-1 調査・年齢別にみた、未婚者の平均希望子ども数

【 男 性 】						
年齢	第8回調査 (1982年)	第9回 (1987年)	第10回 (1992年)	第11回 (1997年)	第12回 (2002年)	第13回 (2005年)
18～19歳	2.32	2.30	2.19	2.21	2.18	2.15
20～24歳	2.35	2.30	2.25	2.15	2.05	2.11
25～29歳	2.37	2.30	2.22	2.14	1.99	2.05
30～34歳	2.30	2.26	2.21	2.13	1.98	2.01
総数(18～34歳) (標本数)	2.34 (2,573)	2.30 (2,929)	2.23 (3,672)	2.15 (3,203)	2.05 (3,270)	2.07 (2,652)
【 女 性 】						
年齢	第8回調査 (1982年)	第9回 (1987年)	第10回 (1992年)	第11回 (1997年)	第12回 (2002年)	第13回 (2005年)
18～19歳	2.35	2.29	2.20	2.25	2.13	2.23
20～24歳	2.34	2.26	2.22	2.16	2.09	2.18
25～29歳	2.18	2.18	2.10	2.13	1.98	2.03
30～34歳	1.90	1.83	1.90	1.76	1.87	1.84
総数(18～34歳) (標本数)	2.29 (1,970)	2.23 (2,371)	2.17 (3,212)	2.13 (3,093)	2.03 (3,001)	2.10 (2,698)

注：対象は「いずれ結婚するつもり」と答えた18～34歳未婚者。平均希望子ども数は5人以上を5として算出。

図3-5 調査別にみた、未婚者の希望子ども数の分布

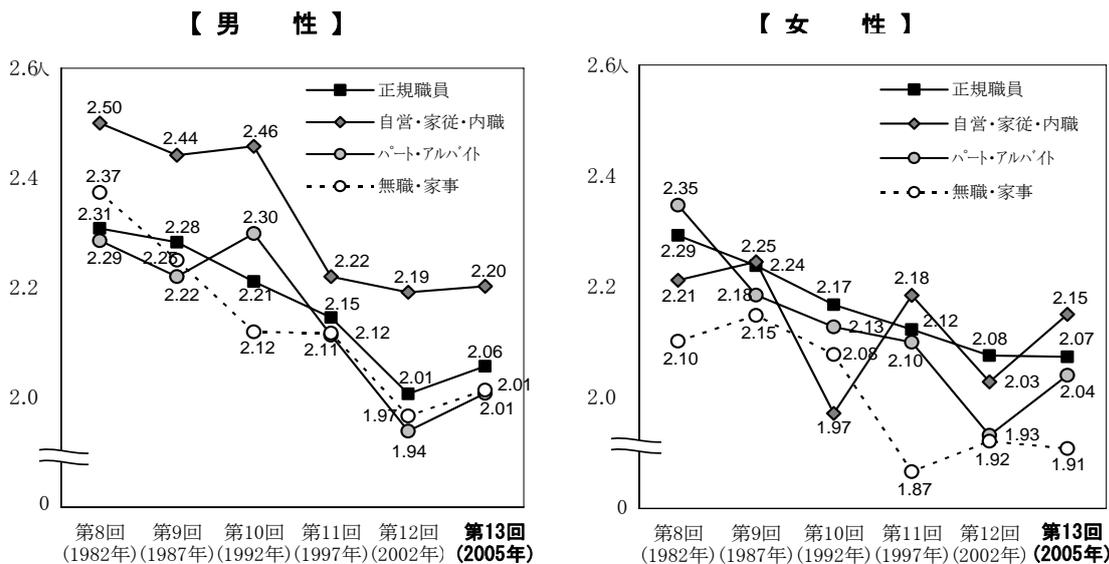


注：対象は「いずれ結婚するつもり」と答えた18～34歳未婚者。図の上部()内は平均希望子ども数。

自営業の男性未婚者、およびきょうだい数の多い未婚男女で、希望子ども数が多い

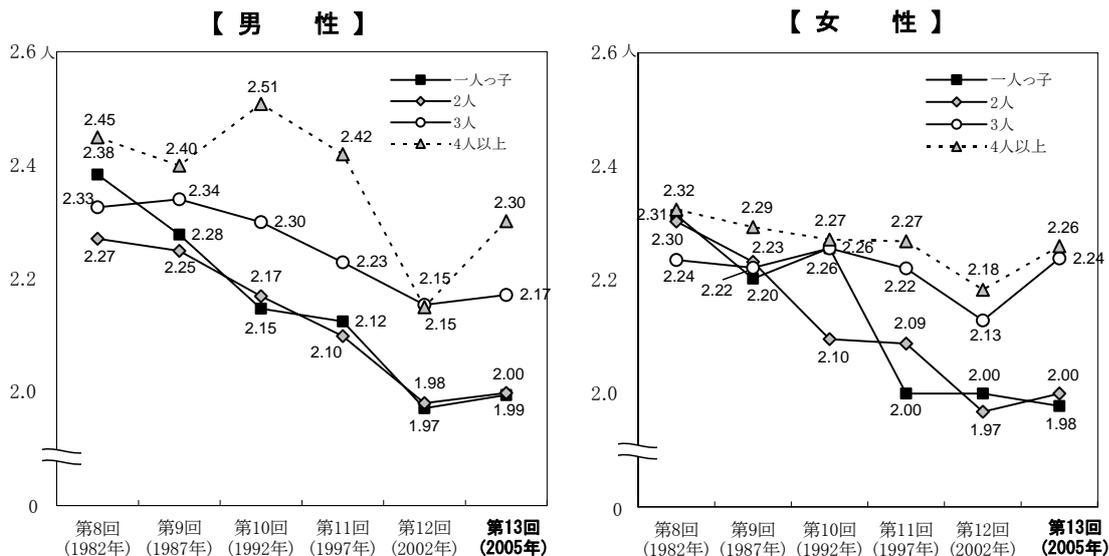
就業の状況別に未婚者の希望子ども数を見ると、男性では自営・家族従業等でとくに多く、男女とも無職・家事の場合に少ない傾向が見られる(図3-6)。非正規就業者(パート・アルバイト)の場合、正規雇用者(正規の職員)に比べて男女ともわずかに少ない傾向があるが、差は小さい。また、本人のきょうだい数別に希望子ども数を見ると、一人っ子や2人きょうだいに比べて3人以上のきょうだいの場合に希望子ども数が多い傾向が見られ、最近の調査ほどその差が顕著になってきている(図3-7)。

図3-6 就業の状況別にみた、未婚者の平均希望子ども数の推移



注：対象「いずれ結婚するつもり」と答えた18～34歳未婚者。希望子ども数は5人以上を5人として算出。就業の状況の構成については付表5(巻末)参照。

図3-7 本人のきょうだい数別にみた、未婚者の平均希望子ども数の推移



注：対象は「いずれ結婚するつもり」と答えた18～34歳未婚者。希望子ども数は5人以上を5人として算出。

4. 未婚者の生活と意識 — 若者たちを取り巻く状況と意識 —

(1) 親との同居と就業の状況

未婚者の親との同居率は横這い

親と同居する未婚者の割合(同居率)は、男性では第11回調査(1997年)から第12回調査(2002年)にかけて上昇を示したが、今回調査ではおおむね横這いとなった。女性では年齢により異なる傾向がみられ、18～19歳の同居率が減少する一方で、従来低かった30～34歳の同居率が上昇する傾向がみられる。

表4-1 調査・年齢別にみた、親と同居する未婚者の割合

【 男 性 】						
年齢	第8回調査 (1982年)	第9回 (1987年)	第10回 (1992年)	第11回 (1997年)	第12回 (2002年)	第13回 (2005年)
18～19歳	71.7%	75.2	65.6	66.0	59.8	70.1
20～24歳	68.2	68.5	59.7	66.7	72.4	72.0
25～29歳	71.5	69.9	63.5	64.3	70.3	69.0
30～34歳	67.3	71.4	68.0	63.9	72.4	69.9
総数(18～34歳)	69.6%	70.4	62.8	65.5	69.5	70.3
参考(35～39歳)	-	-	63.5	64.1	73.4	68.7

【 女 性 】						
年齢	第8回調査 (1982年)	第9回 (1987年)	第10回 (1992年)	第11回 (1997年)	第12回 (2002年)	第13回 (2005年)
18～19歳	83.7%	80.1	73.2	70.5	71.6	65.1
20～24歳	84.7	77.6	78.2	73.8	77.0	76.5
25～29歳	79.4	78.9	80.0	79.4	78.5	81.8
30～34歳	64.8	70.0	69.2	72.1	76.1	79.3
総数(18～34歳)	82.0%	78.0	76.7	74.5	76.4	76.4
参考(35～39歳)	-	-	65.2	69.1	74.4	70.2

注：父母のどちらかと同居していれば「同居」とした。

就業の状況により異なる未婚男性の親との同居率

就業の状況別に親との同居率の違いをみると、男性の場合「パート・アルバイト」「自営・家族従業等」「無職・家事」で高く(80%台)、「正規の職員」「学生」で低い(60%台)。女性では「学生」を別にすると就業の状況による同居率の差は小さいが、相対的に「無職・家事」「パート・アルバイト」で高く、「正規の職員」「自営・家族従業等」で低い傾向が見られる(表4-2、図4-1)。

表4-2 調査・就業の状況別にみた、親と同居する未婚者の割合

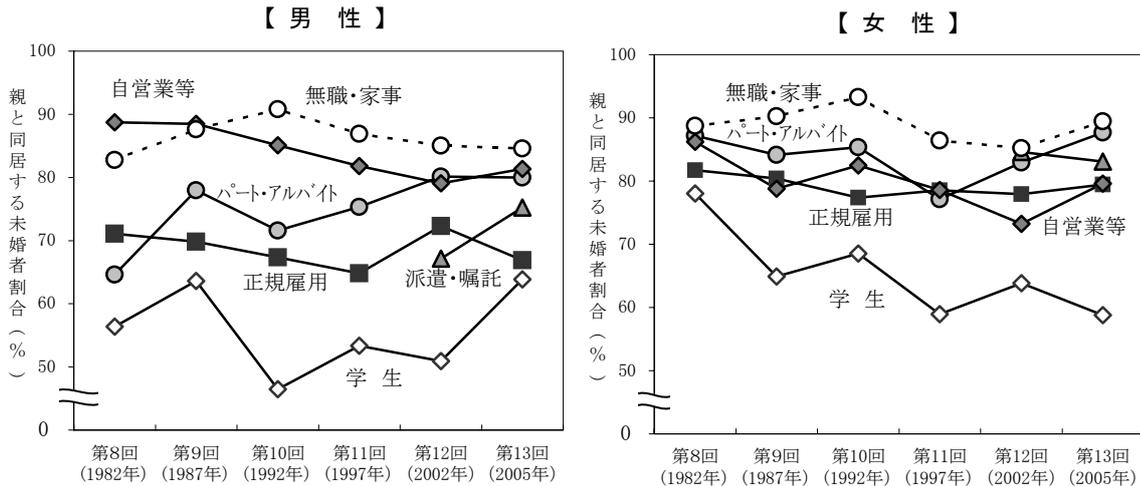
【 男 性 】						
就業の状況	第8回調査 (1982年)	第9回 (1987年)	第10回 (1992年)	第11回 (1997年)	第12回 (2002年)	第13回 (2005年)
正規雇用	71.1%	69.8	67.4	64.8	72.3	66.9
自営・家族従業等	88.7	88.5	85.1	81.8	79.1	81.4
派遣・嘱託	-	-	-	-	67.1	75.3
パート・アルバイト	64.6	77.9	71.6	75.3	80.1	80.0
無職・家事	82.8	87.6	90.8	86.9	85.0	84.6
学生	56.4	63.6	46.5	53.3	50.9	63.9
総数(18～34歳)	69.6%	70.4	62.8	65.5	69.5	70.3

【 女 性 】						
就業の状況	第8回調査 (1982年)	第9回 (1987年)	第10回 (1992年)	第11回 (1997年)	第12回 (2002年)	第13回 (2005年)
正規雇用	81.7%	80.4	77.4	78.5	77.9	79.5
自営・家族従業等	86.2	78.8	82.5	78.6	73.3	79.6
派遣・嘱託	-	-	-	-	84.6	83.1
パート・アルバイト	87.2	84.2	85.4	77.1	83.0	87.7
無職・家事	88.7	90.3	93.3	86.4	85.2	89.4
学生	78.0	64.9	68.6	58.9	63.9	58.8
総数(18～34歳)	82.0%	78.0	76.7	74.5	76.4	76.4

注：対象は、18～34歳の未婚者。父母のどちらかと同居していれば「同居」とした。

派遣・嘱託の区分は第12回調査以降で追加。就業の状況の構成については付表5(巻末)参照。

図4-1 調査・就業の状況別にみた、親と同居する未婚者の割合



注：本図は表4-2をグラフとして表したものの。数値は表4-2を参照。

(2) 女性の健康

未婚女性の5人に一人が問題を抱える

妊娠や出産にかかわる健康について、18歳～34歳の未婚女性の5人に1人(19.3%)が表中に示されるような問題や障害を感じていることがわかった。最も多いのは月経にかかわる問題であるが(15.0%)、30歳代では婦人科系の障害や不妊を心配する女性が多くなっている。

表4-3 年齢別にみた、未婚女性の妊娠・出産にかかわる健康状態

年齢	総数 (標本数)	何らかの問題がある	(複数回答)						障害記のような問題や	不詳	お(参考)ける妻 夫婦調査に
			題月が経ある(生理)に問	あ婦る人科系の障害が	更年期障害がある	る性生活に問題があ	不妊の心配がある	(流産しやすい)			
総数(18～49歳)	100.0% (3,583)	20.4%	14.2	4.5	0.8	0.6	2.8	-	64.9	14.8	24.3
総数(18～34歳)	100.0% (3,064)	19.3%	15.0	3.7	0.2	0.5	2.8	-	66.1	14.6	21.2
18～19歳	100.0% (541)	14.4%	12.9	1.3	0.0	0.0	1.7	-	71.7	13.9	-
20～24歳	100.0 (1,187)	19.6	16.3	3.0	0.0	0.6	2.0	-	65.7	14.7	17.9
25～29歳	100.0 (834)	21.1	15.5	4.4	0.1	0.8	4.0	-	64.4	14.5	19.7
30～34歳	100.0 (502)	20.9	13.2	6.6	1.0	0.2	3.8	-	63.8	15.3	22.4
35～39歳	100.0 (255)	23.9	10.2	8.6	0.8	0.8	4.3	-	57.7	18.4	19.5
40～44歳	100.0 (161)	21.7	6.8	9.3	2.5	0.6	1.9	-	61.5	16.8	26.2
45～49歳	100.0 (103)	39.8	11.7	11.7	16.5	1.9	1.9	-	51.5	8.7	31.9
(参考) 夫婦調査における妻											
総数(50歳未満)	100.0% (5,932)	24.3%	8.5	8.7	5.1	3.7	(4.1)	2.1	59.0	16.7	
総数(35歳未満)	100.0% (1,916)	21.2%	10.1	6.3	0.3	3.8	(8.7)	2.7	64.4	14.4	

注：対象は上記年齢層の未婚女性。婦人科系の障害とは、排卵障害、卵巣嚢腫、子宮筋腫、子宮内膜症、感染症などを含む。選択肢「その他」は掲載を省略。参考表における妻の結果は初婚どうし夫婦について。夫婦調査では「不妊の心配」については別の設問で訊いており、この設問では、代わりに「流産しやすい」という項目が入っている。

(3) 結婚・家族に関する意識と評価

結婚・家族を支持する意識に復調が見られる

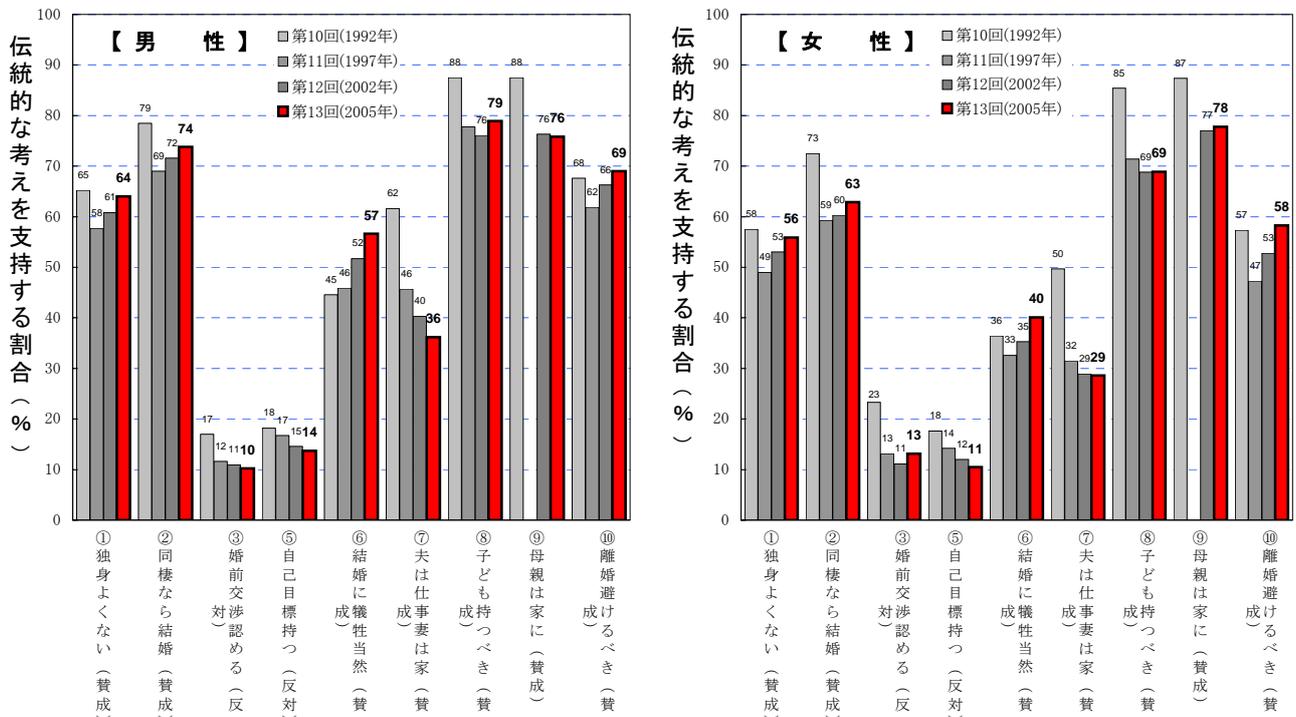
未婚者の結婚・家族に対する意識は、全般に独身であることを肯定する意識がゆらぎ、家族・結婚を支持する意識に復調が見られる。①生涯独身はよくない、②同棲するなら結婚すべき、⑥結婚に犠牲は当然、⑧子どもは持つべき、⑩離婚は避けるべき、などで支持が増えている。しかし、⑦夫は仕事、妻は家庭、と考える人は継続的に減少しており、⑤結婚後も自己目標を持つべき、は継続的に増加している。概して、男性の方が女性に比べて伝統的な家族のあり方に対して肯定的な傾向が見られる。

表 4-4 結婚・家族に関する意識の構成比 (第13回調査)

結婚・家族に関する考え方	【男性】		【女性】	
	賛成	反対	賛成	反対
① 生涯を独身で過ごすというのは、望ましい生き方ではない	64.0 %	30.3	56.0 %	39.7
② 男女が一緒に暮らすなら結婚すべきである	73.9	20.5	62.9	32.7
③ 結婚前の男女でも愛情があるなら性交渉をもってかまわない	83.7	10.3	82.1	13.2
④ どんな社会においても、女らしさや男らしさはある程度必要だ	85.6	8.9	84.4	11.5
⑤ 結婚しても、人生には結婚相手や家族とは別の自分だけの目標を持つべきである	80.2	13.7	84.9	10.6
⑥ 結婚したら、家庭のためには自分の個性や生き方を半分犠牲にするのは当然だ	56.7	37.5	40.1	55.4
⑦ 結婚後は、夫は外で働き、妻は家庭を守るべきだ	36.2	58.1	28.7	66.9
⑧ 結婚したら、子どもは持つべきだ	78.9	15.0	68.9	26.2
⑨ 少なくとも子どもが小さいうちは、母親は仕事を持たず家にいるのが望ましい	75.9	18.6	77.8	18.2
⑩ いったん結婚したら、性格の不一致くらいで別れるべきではない	69.0	25.3	58.3	37.1

注：対象は18～34歳未婚者。標本数は①～⑩すべて男性 3,139件、女性 3,064件。④は第13回調査で新規に追加。

図 4-2 調査別にみた結婚・家族に関する意識



注：対象は18～34歳未婚者。「賛成」は「まったく賛成」と「どちらかといえば賛成」を合計した回答割合。「反対」についても同様。図では、伝統的な考えについては「賛成」の割合、伝統的な考えを否定するものについては「反対」の割合をそれぞれ用いて、伝統的な家族を支持する方向への回答割合が示されている。詳細な数値は付表6 (巻末)参照。

全般に周りの人の結婚や子育てには肯定的

親の夫婦関係、きょうだいや友人の結婚・子育てに対する見方は、男女でそれほど違ってない。父親がよく家事をしていたと答えた人は男女とも2割台で、6～7割の人が周囲やマスコミから結婚や出産・子育てについてたいへんそうだと聞いている。親や友人の夫婦関係・結婚に対しては、肯定的(うらやましい・幸せそう)に感じている人が約半数おり、そうでない人よりかなり多い結果となっている。

表4-5 周囲の結婚や子育てに対する評価

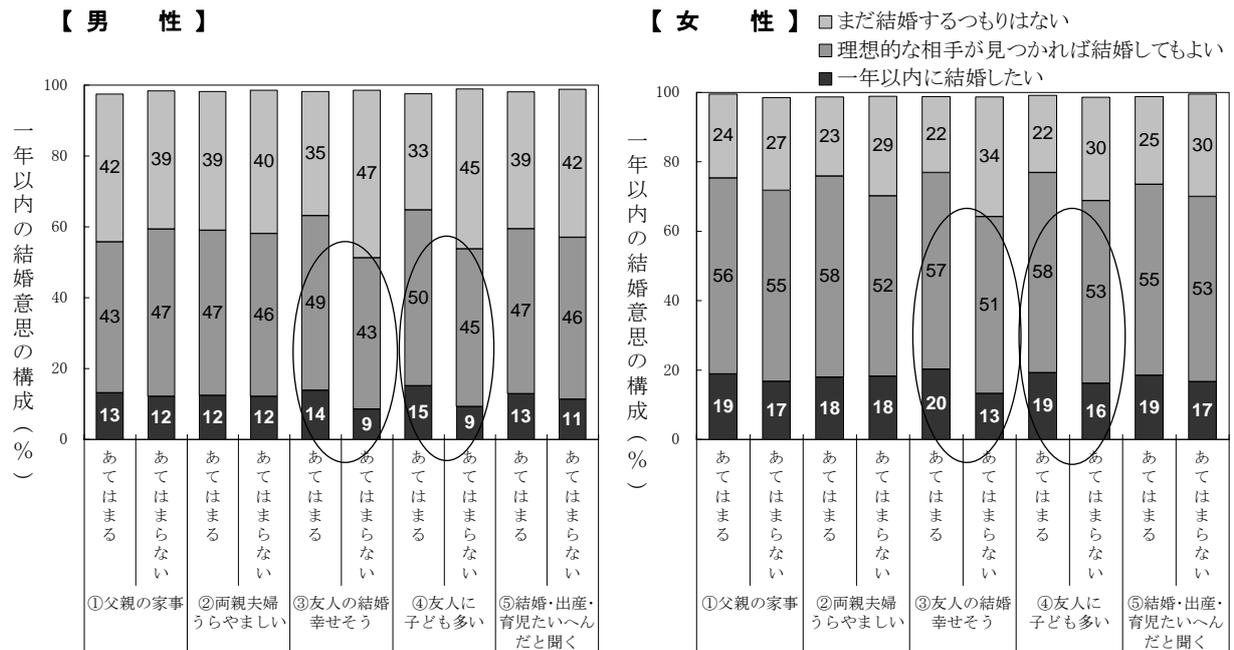
周囲の人の結婚・子育ての評価		あてはまる (合計)		あてはまらない (合計)			該当しない	不詳	
		あてはまる	はいどもえちらばらあかと	はいどもえちらばらあかと	なあてはまら				
① 子どもの頃、父はよく家事をしていた	男性	24.6 %	9.1 %	15.5	57.5 %	20.6 %	36.9	13.1 %	4.8 %
	女性	22.2	8.2	14.0	57.2	18.5	38.8		
② 両親のような夫婦関係をうらやましく思う	男性	49.7	15.2	34.4	37.6	21.2	16.3	7.6	5.2
	女性	51.4	19.5	31.9	35.8	18.8	17.0		
③ 結婚しているまわりの友人をみると、幸せそうだと思う	男性	49.3	14.4	34.9	28.1	19.1	9.0	17.1	5.5
	女性	54.2	15.7	38.5	25.9	18.5	7.4		
④ 同年代の友人やきょうだいに、子どもを持っている人が多い	男性	32.1	12.1	20.0	46.2	25.4	20.8	16.5	5.3
	女性	34.0	12.9	21.1	46.7	25.9	20.8		
⑤ 周囲の人やマスコミから、結婚や出産・子育てはたいへんだと聞くことが多い	男性	64.8	25.6	39.2	22.9	15.8	7.1	6.7	5.6
	女性	70.9	29.9	41.0	21.1	14.7	6.3		

設問「あなたのご両親や友人などについて、おたずねします。下の①～⑤について、右の欄のあてはまる番号に○をつけてください。質問項目に該当する相手がいない(いなかった)場合は、5(該当しない)に○をつけてください。」
注：対象は18～34歳未婚者。標本数は男性3,139、女性3,064。

周りの人の結婚や子育てに肯定的な人は、結婚意欲がやや高い

周囲の結婚や子育てに対する評価によって、一年以内の結婚意思に違いがあるか否かをみると、男女とも両親や友人夫婦の関係を肯定的に感じている人の方が、「結婚したい」あるいは「理想的な相手が見つければ結婚してもよい」と答えている人が多く、結婚意欲が高いことがわかる。

図4-3 周囲の結婚や子育てに対する評価別にみた、一年以内の結婚意思(25～34歳)



注：対象は「いずれ結婚するつもり」と答えた25～34歳未婚者。標本数は男性1,460、女性1,189。

【付 表】

付表1 調査・年齢階級別にみた生涯の結婚意思の構成比

生涯の結婚意思 年 齢	【 男 性 】						【 女 性 】					
	第8回調査 (1982年)	第9回 (1987年)	第10回 (1992年)	第11回 (1997年)	第12回 (2002年)	第13回 (2005年)	第8回調査 (1982年)	第9回 (1987年)	第10回 (1992年)	第11回 (1997年)	第12回 (2002年)	第13回 (2005年)
1. いずれ結婚するつもり												
総数(18～49歳)	95.9 %	91.8	87.6	83.5	84.8	83.8	94.2 %	92.9	86.6	86.0	85.2	86.1
18～34歳小計	95.9	91.8	90.0	85.9	87.0	87.0	94.2	92.9	90.2	89.1	88.3	90.0
18～19歳	96.0	90.0	87.5	85.5	88.4	88.4	95.5	93.5	88.8	87.6	85.8	89.5
20～24歳	97.1	92.6	90.9	86.7	88.3	87.7	97.5	95.1	92.0	90.7	90.9	91.5
25～29歳	95.8	93.9	92.0	87.1	86.3	88.0	92.5	91.8	89.9	87.1	87.7	91.8
30～34歳	92.4	86.9	87.0	80.9	83.8	83.7	72.7	75.6	83.8	88.7	85.1	84.3
35～39歳	—	—	80.5	80.1	81.1	81.8	—	—	63.0	69.1	76.8	73.3
40～44歳	—	—	66.7	71.4	74.1	70.0	—	—	42.9	46.7	52.9	57.8
45～49歳	—	—	50.0	51.4	63.4	53.6	—	—	27.8	36.4	38.1	45.6
2. 一生結婚するつもりはない												
総数(18～49歳)	2.3 %	4.5	7.0	8.3	7.0	9.4	4.1 %	4.6	8.5	7.2	6.9	8.5
18～34歳(小計)	2.3	4.5	4.9	6.3	5.4	7.1	4.1	4.6	5.2	4.9	5.0	5.6
18～19歳	1.8	5.7	6.2	7.2	5.0	5.2	2.6	4.7	5.5	6.1	6.1	7.2
20～24歳	1.2	3.6	4.5	5.5	4.7	6.8	1.9	2.8	3.9	4.1	3.9	4.5
25～29歳	2.9	3.6	3.2	5.5	5.3	6.9	4.0	5.6	5.5	5.4	4.2	4.1
30～34歳	5.1	8.3	7.5	9.6	7.3	9.0	23.6	16.9	12.6	5.5	8.5	9.2
35～39歳	—	—	11.0	12.5	9.3	10.9	—	—	29.0	20.8	9.5	16.9
40～44歳	—	—	25.4	18.5	15.1	17.0	—	—	49.2	33.3	28.7	29.2
45～49歳	—	—	44.4	32.0	23.9	34.3	—	—	60.8	46.6	37.1	41.7
3. 不詳												
総数(18～49歳)	1.8 %	3.7	5.5	8.2	8.2	6.8	1.7 %	2.5	4.9	6.8	7.9	5.4
18～34歳(小計)	1.8	3.7	5.1	7.8	7.7	5.9	1.7	2.5	4.6	6.0	6.7	4.3
18～19歳	2.2	4.3	6.4	7.2	6.7	6.4	1.9	1.9	5.7	6.3	8.1	3.3
20～24歳	1.7	3.8	4.6	7.7	7.0	5.5	0.6	2.2	4.2	5.2	5.2	4.0
25～29歳	1.4	2.5	4.8	7.4	8.4	5.1	3.5	2.6	4.6	7.5	8.0	4.1
30～34歳	2.4	4.8	5.5	9.5	8.9	7.3	3.6	7.5	3.6	5.8	6.4	6.6
35～39歳	—	—	8.5	7.3	9.6	7.3	—	—	8.0	10.1	13.7	9.8
40～44歳	—	—	7.9	10.1	10.8	13.0	—	—	7.9	20.0	18.4	13.0
45～49歳	—	—	5.6	16.6	12.7	12.2	—	—	11.4	17.0	24.7	12.6

設問「自分の一生を通じて考えた場合、あなたの結婚に対するお考えは、次のうちのどちらですか。」

1. いずれ結婚するつもり、2. 一生結婚するつもりはない

対象：18～34歳の未婚男女。参考として第10回調査以降について35～39歳の状況を示した。

付表2 調査・年齢階級別にみた結婚に対する考え方(年齢志向・理想志向)の構成比

調 査 年 齢	【 男 性 】				【 女 性 】			
	総 数 (標本数)	ある年齢ま では結婚 する	理想の相手 を待つ	不詳	総 数 (標本数)	ある年齢ま では結婚 する	理想の相手 を待つ	不詳
第9回調査(1987年)								
総数(18～34歳)	100.0 % (3,027)	60.4	37.5	2.1	100.0 % (2,420)	54.1	44.5	1.3
18～19歳	100.0 (541)	57.9	39.9	2.2	100.0 (601)	56.9	42.1	1.0
20～24歳	100.0 (1,355)	61.8	36.3	1.8	100.0 (1,271)	57.5	41.5	1.0
25～29歳	100.0 (785)	63.1	34.5	2.4	100.0 (427)	47.3	50.6	2.1
30～34歳	100.0 (346)	52.3	45.4	2.3	100.0 (121)	28.9	67.8	3.3
第10回調査(1992年)								
総数(18～34歳)	100.0 % (3,795)	52.8	45.5	1.6	100.0 % (3,291)	49.2	49.6	1.3
18～19歳	100.0 (739)	49.9	48.7	1.4	100.0 (780)	55.0	44.0	1.0
20～24歳	100.0 (1,673)	55.2	43.4	1.4	100.0 (1,640)	51.2	47.4	1.4
25～29歳	100.0 (953)	53.3	44.8	1.9	100.0 (664)	44.3	54.5	1.2
30～34歳	100.0 (430)	47.7	50.0	2.3	100.0 (207)	26.6	72.0	1.4
第11回調査(1997年)								
総数(18～34歳)	100.0 % (3,420)	48.6	50.1	1.3	100.0 % (3,218)	42.9	56.1	1.1
18～19歳	100.0 (531)	47.6	51.2	1.1	100.0 (531)	44.3	54.8	0.9
20～24歳	100.0 (1,460)	51.0	48.2	0.8	100.0 (1,591)	46.9	52.2	0.9
25～29歳	100.0 (1,001)	49.7	48.9	1.5	100.0 (791)	40.6	58.2	1.3
30～34歳	100.0 (428)	38.8	58.6	2.6	100.0 (305)	25.2	72.8	2.0
第12回調査(2002年)								
総数(18～34歳)	100.0 % (3,389)	48.1	50.5	1.4	100.0 % (3,085)	43.6	55.2	1.3
18～19歳	100.0 (624)	47.6	50.5	1.9	100.0 (507)	50.5	47.9	1.6
20～24歳	100.0 (1,240)	50.2	48.9	1.0	100.0 (1,267)	48.2	50.2	1.6
25～29歳	100.0 (970)	48.6	50.1	1.3	100.0 (888)	42.2	57.2	0.6
30～34歳	100.0 (555)	43.1	54.8	2.2	100.0 (423)	24.1	74.5	1.4
第13回調査(2005年)								
総数(18～34歳)	100.0 % (2,732)	51.9	46.7	1.3	100.0 % (2,759)	49.5	49.0	1.4
18～19歳	100.0 (373)	52.3	46.1	1.6	100.0 (484)	50.6	48.1	1.2
20～24歳	100.0 (899)	52.8	46.3	0.9	100.0 (1,086)	54.9	43.8	1.3
25～29歳	100.0 (902)	54.9	43.6	1.6	100.0 (766)	50.4	47.9	1.7
30～34歳	100.0 (558)	45.5	53.0	1.4	100.0 (423)	33.1	65.5	1.4

設問「同じく自分の一生を通じて考えた場合、あなたの結婚に対するお考えは、次のうちどちらですか。」

1. ある程度の年齢までには結婚するつもり、2. 理想的な相手が見つかるまでは結婚しなくてもかまわない

対象：「いずれ結婚するつもり」と答えた18～34歳の未婚男女。

付表3 調査・年齢階級別にみた1年以内の結婚意思の構成比

調査 年 齢	【 男 性 】					【 女 性 】				
	総 数 (標本数)	1年以内に結婚したい	理想の相手ならしてもよい	まだ結婚するつもりはない	不詳	総 数 (標本数)	1年以内に結婚したい	理想の相手ならしてもよい	まだ結婚するつもりはない	不詳
第9回調査(1987年)										
総数(18~34歳)	100.0 % (3,027)	10.8	30.1	57.3	1.9	100.0 % (2,420)	11.0	38.0	49.5	1.4
18~19歳	100.0 (541)	1.1	10.5	86.5	1.8	100.0 (601)	3.0	22.3	73.5	1.2
20~24歳	100.0 (1,355)	7.1	19.7	71.6	1.6	100.0 (1,271)	10.6	35.3	52.7	1.3
25~29歳	100.0 (785)	18.0	48.8	31.5	1.8	100.0 (427)	21.3	60.7	16.6	1.4
30~34歳	100.0 (346)	24.0	58.7	14.5	2.9	100.0 (121)	19.0	64.5	13.2	3.3
第10回調査(1992年)										
総数(18~34歳)	100.0 % (3,795)	9.0	29.6	59.3	2.0	100.0 % (3,291)	10.2	37.6	50.7	1.5
18~19歳	100.0 (739)	1.2	11.5	85.7	1.6	100.0 (780)	3.7	18.8	76.4	1.0
20~24歳	100.0 (1,673)	6.0	20.6	72.1	1.3	100.0 (1,640)	9.0	33.7	55.7	1.6
25~29歳	100.0 (953)	15.8	43.8	37.5	2.9	100.0 (664)	19.9	58.7	19.7	1.7
30~34歳	100.0 (430)	18.8	64.9	12.8	3.5	100.0 (207)	12.6	71.5	14.0	1.9
第11回調査(1997年)										
総数(18~34歳)	100.0 % (3,420)	9.0	33.0	56.5	1.5	100.0 % (3,218)	10.2	40.9	47.7	1.2
18~19歳	100.0 (531)	1.5	17.1	80.6	0.8	100.0 (531)	2.1	20.0	76.8	1.1
20~24歳	100.0 (1,460)	5.9	25.0	67.4	1.7	100.0 (1,591)	8.8	36.5	53.9	0.8
25~29歳	100.0 (1,001)	14.9	41.0	42.7	1.5	100.0 (791)	16.3	55.0	26.9	1.8
30~34歳	100.0 (428)	15.4	61.2	21.5	1.9	100.0 (305)	16.1	63.9	18.4	1.6
第12回調査(2002年)										
総数(18~34歳)	100.0 % (3,389)	7.8	34.4	55.9	1.9	100.0 % (3,085)	12.3	40.3	46.3	1.2
18~19歳	100.0 (624)	1.3	27.6	69.6	1.6	100.0 (507)	2.8	19.9	76.7	0.6
20~24歳	100.0 (1,240)	5.1	22.5	70.8	1.6	100.0 (1,267)	9.8	32.9	56.0	1.3
25~29歳	100.0 (970)	12.8	40.4	45.1	1.8	100.0 (888)	18.4	51.1	29.3	1.2
30~34歳	100.0 (555)	12.6	58.2	25.9	3.2	100.0 (423)	18.4	64.1	16.1	1.4
第13回調査(2005年)										
総数(18~34歳)	100.0 % (2,732)	8.0	34.2	56.0	1.8	100.0 % (2,759)	11.7	38.4	48.8	1.1
18~19歳	100.0 (373)	1.6	11.8	84.2	2.4	100.0 (484)	2.5	17.4	79.8	0.4
20~24歳	100.0 (899)	4.0	23.7	71.0	1.3	100.0 (1,086)	8.7	29.7	60.6	1.0
25~29歳	100.0 (902)	11.4	40.1	46.3	2.1	100.0 (766)	18.8	50.8	28.9	1.6
30~34歳	100.0 (558)	13.1	56.3	28.9	1.8	100.0 (423)	17.0	62.4	19.4	1.2

設問「それでは今から一年以内の結婚に関してはどのようにお考えですか。」

1.一年以内に結婚したい、2.理想的な相手が見つければ結婚してもよい、3.まだ結婚するつもりはない
対象:「いずれ結婚するつもり」と答えた18~34歳の未婚男女。

付表4 調査・年齢階級別にみた未婚者の性経験の構成比

年 齢	【 男 性 】					【 女 性 】									
	性経験なし					性経験あり					不 詳				
	第9回	第10回	第11回	第12回	第13回	第9回	第10回	第11回	第12回	第13回	第9回	第10回	第11回	第12回	第13回
18~19歳	71.9%	70.9	64.9	64.2	60.7	24.3%	25.1	31.9	33.3	31.5	3.8%	4.0	3.2	2.6	7.8
20~24歳	43.0	42.5	35.8	34.2	33.6	52.7	54.8	60.0	60.1	57.5	4.2	2.7	4.2	5.6	9.0
25~29歳	30.0	24.8	25.3	25.6	23.2	66.6	71.3	70.6	69.3	66.0	3.4	3.9	4.1	5.1	10.8
30~34歳	27.1	22.7	23.4	23.4	24.3	68.3	72.3	71.3	71.0	64.3	4.5	5.1	5.3	5.6	11.4
総数(18~34歳)	43.1%	41.5	35.7	35.3	31.9	53.0%	55.0	60.2	59.8	58.2	4.0%	3.5	4.2	4.9	9.9
参考(35~39歳)	-	26.4	26.1	24.8	26.5	-	70.1	70.4	69.4	64.8	-	3.5	3.5	5.9	8.7
18~19歳	81.0%	77.3	68.3	62.9	62.5	17.4%	20.7	28.2	32.3	31.8	1.6%	1.9	3.5	4.7	5.7
20~24歳	64.4	53.0	42.6	38.3	36.3	31.9	42.0	52.0	55.7	54.2	3.7	5.1	5.4	6.0	9.5
25~29歳	53.6	44.4	34.1	26.3	25.1	40.0	46.7	58.3	64.8	60.4	6.5	8.9	7.6	8.9	14.5
30~34歳	44.4	40.9	28.8	26.6	26.7	38.8	49.8	61.3	62.8	55.0	16.9	9.3	9.9	10.7	18.3
総数(18~34歳)	65.3%	56.3	43.5	37.3	36.3	30.2%	38.3	50.5	55.4	52.1	4.5%	5.4	6.1	7.3	11.7
参考(35~39歳)	-	41.3	30.9	28.4	21.6	-	48.6	57.1	61.6	56.9	-	10.1	12.1	10.0	21.6

設問「あなたはこれまでに異性と性交渉をもったことがありますか。」1.ある、2.ない。ただし、第13回調査の設問の選択肢は、1.過去1年以内にある、2.過去1年以内にはないが、以前にはある、3.ない。対象は18~34歳の未婚男女(参考として35~39歳を掲載)。

付表5 調査別にみた就業の状況の構成比

就業の状況 (従業上の地位)	【 男 性 】						【 女 性 】					
	第8回調査 (1982年)	第9回 (1987年)	第10回 (1992年)	第11回 (1997年)	第12回 (2002年)	第13回 (2005年)	第8回調査 (1982年)	第9回 (1987年)	第10回 (1992年)	第11回 (1997年)	第12回 (2002年)	第13回 (2005年)
正規の職員	63.7 %	62.7	61.7	57.7	45.2	47.9	66.4 %	65.6	66.1	54.4	44.5	40.8
自営・家族従業等	8.5	7.4	3.7	5.8	5.5	5.6	2.7	2.5	1.1	2.3	2.5	1.6
派遣・嘱託	-	-	-	-	1.9	6.3	-	-	-	-	4.8	10.6
パート・アルバイト	2.4	2.1	2.1	7.7	10.9	10.5	3.7	3.9	4.5	14.1	16.3	13.5
無職・家事	3.2	2.7	2.3	3.3	7.0	6.4	9.7	7.1	5.3	5.7	8.1	6.8
学生	21.2	23.6	28.7	21.0	23.3	20.5	16.0	19.7	21.8	20.4	18.7	24.3
その他・不詳	1.1	1.5	1.5	4.5	6.2	2.8	1.5	1.2	1.2	3.0	5.1	2.3
総数(18~34歳) (標本数)	100.0 % (2,732)	100.0 (3,299)	100.0 (4,215)	100.0 (3,982)	100.0 (3,897)	100.0 (3,139)	100.0 % (2,110)	100.0 (2,605)	100.0 (3,647)	100.0 (3,612)	100.0 (3,494)	100.0 (3,064)

対象:18~34歳の未婚男女。派遣・嘱託の区分は第12回調査以降で追加された。

付表6 調査別にみた結婚・家族に関する意識の構成比

結婚・家族に関する意識	調査	【男性】			【女性】		
		賛成	反対	不詳	賛成	反対	不詳
①生涯を独身で過ごすというのは、望ましい生き方ではない	第10回(1992年)	65.3%	29.1	5.6	57.6	38.4	4.0
	第11回(1997年)	57.7	36.0	6.2	49.1	45.7	5.2
	第12回(2002年)	60.9	31.0	8.1	53.0	40.2	6.8
	第13回(2005年)	64.0	30.3	5.7	56.0	39.7	4.3
②男女が一緒に暮らすなら結婚すべきである	第10回(1992年)	78.5	16.5	5.0	72.6	23.5	3.9
	第11回(1997年)	69.0	24.9	6.0	59.3	35.9	4.8
	第12回(2002年)	71.6	21.0	7.4	60.3	33.6	6.1
	第13回(2005年)	73.9	20.5	5.6	62.9	32.7	4.4
③結婚前の男女でも愛情があるなら性交渉を持ってかまわない	第10回(1992年)	77.5	17.0	5.5	72.6	23.4	4.0
	第11回(1997年)	81.8	11.7	6.6	81.3	13.2	5.5
	第12回(2002年)	81.1	10.9	8.0	82.2	11.1	6.7
	第13回(2005年)	83.7	10.3	6.1	82.1	13.2	4.7
④どんな社会においても、女らしさや男らしさはある程度必要だ	第13回(2005年)	85.6	8.9	5.5	84.4	11.5	4.1
⑤結婚しても、人生には結婚相手や家族とは別の自分だけの目標をもつべきである	第10回(1992年)	76.4	18.2	5.4	78.3	17.6	4.1
	第11回(1997年)	76.5	16.7	6.8	80.3	14.2	5.5
	第12回(2002年)	77.3	14.7	8.1	81.3	12.1	6.7
	第13回(2005年)	80.2	13.7	6.1	84.9	10.6	4.5
⑥結婚したら、家庭のためには自分の個性や生き方を半分犠牲にするのは当然だ	第10回(1992年)	44.7	49.4	5.9	36.4	58.9	4.7
	第11回(1997年)	45.9	47.7	6.4	32.6	62.3	5.1
	第12回(2002年)	51.8	40.4	7.9	35.4	58.1	6.5
	第13回(2005年)	56.7	37.5	5.8	40.1	55.4	4.5
⑦結婚後は、夫は外で働き、妻は家庭を守るべきだ	第10回(1992年)	61.7	32.5	5.8	49.7	45.8	4.5
	第11回(1997年)	45.8	47.8	6.4	31.5	63.5	5.0
	第12回(2002年)	40.3	51.8	7.9	28.9	64.7	6.3
	第13回(2005年)	36.2	58.1	5.6	28.7	66.9	4.4
⑧結婚したら、子どもは持つべきだ	第10回(1992年)	87.5	6.8	5.7	85.4	9.9	4.7
	第11回(1997年)	77.9	15.3	6.8	71.5	23.3	5.2
	第12回(2002年)	76.2	15.6	8.3	68.8	24.4	6.8
	第13回(2005年)	78.9	15.0	6.0	68.9	26.2	4.9
⑨少なくとも子どもが小さいうちは、母親は仕事を持たず家にいるのが望ましい	第10回(1992年)	87.5	7.0	5.5	87.4	8.2	4.4
	第11回(1997年)	-	-	-	-	-	-
	第12回(2002年)	76.4	15.8	7.9	77.1	16.7	6.2
	第13回(2005年)	75.9	18.6	5.5	77.8	18.2	4.0
⑩いったん結婚したら、性格の不一致くらいで別れるべきではない	第10回(1992年)	67.7	26.4	5.9	57.4	37.8	4.8
	第11回(1997年)	62.0	31.4	6.7	47.3	47.3	5.3
	第12回(2002年)	66.4	25.7	7.9	52.8	40.4	6.8
	第13回(2005年)	69.0	25.3	5.6	58.3	37.1	4.5

設問「結婚、男女関係、家庭、子どもを持つことについてはいろいろな考え方がありますが、下に例として①～⑩のような考え方を示しました。それぞれについて、あなたご自身はどのようにお考えでしょうか。それぞれの右の欄のあてはまる番号に○をつけてください。」 1.まったく賛成、2.どちらかといえば賛成、3.どちらかといえば反対、4.まったく反対
 対象:18歳～34歳の未婚男女。標本数はそれぞれ、第10回男性4,215、女性3,647、第11回男性3,982、女性3,612、第12回男性3,897、女性3,494、第13回男性3,139、女性3,064。「賛成」は「まったく賛成」「どちらかといえば賛成」を合計した回答割合。「反対」についても同様。